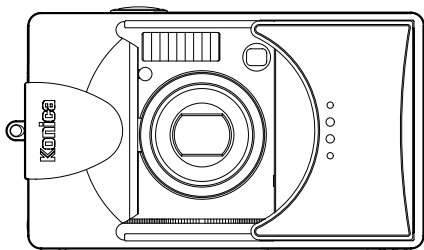
Konica

デジタルスチルカメラ

Revio

KD-510Z

使用説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この使用説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。使用説明書はお読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。

はじめに

■ご使用前に必ずお読みください。

●事前に試し撮りをしてください。
大切な撮影（業務用および結婚式や旅行など）の前には必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

●撮影内容の補償はできません。
本製品および使用カードの不具合で、万一撮影や再生がされなかった場合などの撮影内容の補償については、ご容赦ください。

●著作権にご留意ください。
あなたが撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

●長時間使用時のご注意
長時間使用するとカメラ本体が熱くなることがあります。
故障ではありませんが、長時間皮膚に触れたままになっていると低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

●商標について
＊Ｗｉｎｄｏｗｓ は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の 国における登録商標または商標です。
＊Ｍａｃｉｎｔｏｓｈ は、米国アップルコンピュータ社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
＊その他記載の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

●電波障害自主規制について
本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをお願い致します。

＊本文中のイラストは、説明用のため実際のデザインと異なる場合があります。
＊従来の写真と同様にデジタルカメラの画像も一部店舗を除きプリント取扱店でプリントできます。詳しくはプリント取扱店にご相談ください。

目次

準 備

基本操作

応用撮影（撮影メニューを使った撮影）

基本再生／消去

応用再生／消去（再生メニューを使った再生／消去）

目次（つづき）

応用操作（セットアップメニューを使った設定）

パソコンと接続する

その他

安全上のご注意　※必ずお守りください。

本製品は安全性には十分配慮していますが、下記の表示マークおよび警告・注意に関する記載をよくお読みになった上で正しくお使いください。下記の表示マークは、万一にも傷害や損害を与えることのないように、正しく製品をご使用いただくための警告表示マーク・注意表示マークです。

⚠警告	このマークの内容を守らなかった場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性があることを示すマークです。
⚠注意	このマークの内容を守らなかった場合、使用者等が軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示すマークです。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。（下記は絵表示の例です）

⚠ 記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⃠ 記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ 記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意（つづき）※必ずお守りください。

⚠ 警　告

電源プラグを抜く

次の場合は直ちに使用を中止し、メインスイッチをＯＦＦにして、電池やＡＣアダプターを取外してください。
また、ＡＣアダプターを使用している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

- **煙が出ている、カメラが異常に熱くなる、変な臭いや音がするなどの異常状態のとき**
- **機器の内部に水などが入ったとき**
- **異物が機器の中に入ったとき**

分解禁止

分解や改造、ご自身での修理はしないでください。
火災や感電の原因となります。
修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、ぬらしたりしないでください。
内部に水が入ると、火災や感電の、故障の原因となります。
水が入ったと思われるときは、直ちに使用を止め、販売店にご相談ください。

禁止

機器の内部に金属物や燃えやすいものを落としたり、入れたりしないでください。
内部に金属物などが入ると、火災や感電、故障の原因となります。

自動車などの乗り物を運転しながらの使用は絶対にしないでください。
交通事故誘発の原因となります。
歩きながら使用するときは、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

不安定な状態で使用しないでください。
特に高所の場合、転落すると死亡や大ケガの原因となります。

⚠ 警告

	ファインダーで直接太陽を見ないでください。 失明や視力障害の原因となります。
	雷が鳴り出したら本機の金属部に触れないでください。 落雷すると、誘電雷により感電死の原因となります。
	指定外のＡＣアダプターを使用しないでください。 指定外のものを使用すると火災の原因となります。
	電池を分解、ショート、加工（半田付けなど）、加熱、加圧（釘で刺すなど）、火中に投入などしないでください。 **また、他の金属物（針金やネックレスなど）に接触させないでください。** 液漏れ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 注　意

	レンズを太陽や強い光源に向けないでください。 集光により、内部部品の破損の原因となり、そのまま使用するとショートや絶縁不良で発熱し、火災の恐れがあります。
	電池／カード蓋に指を挟まないようにご注意ください。 挟まれるとケガをする恐れがあります。
	飛行機内で使用するときは航空会社の指示に従ってください。 本機が出す電波などにより､飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。
	目に近づけてフラッシュを発光させないでください。 目を痛める危険があります。

⚠ 注　意

撮影の際にはフラッシュ表面の汚れを清掃し、フラッシュを覆わないようご注意ください。
フラッシュの表面が汚れていたり、フラッシュを覆ったまま撮影すると、フラッシュ発光時の高温により、フラッシュの表面が変質・変色します。

電池を入れるときは、＋／－の向きを確認して正しく入れてください。
間違えると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、ヤケドやケガをする危険があります。

汗や油で汚れた電池は使用しないでください。
もし汚れていたら、乾いた布で良く拭いてから使用してください。

カメラのお手入れをするときは、安全のためＡＣアダプターを外してください。

次の場所に放置しないでください。

●強い直射日光が当たる所や、車の中など高温になる場所
火災や破裂の恐れがあります。

●乳幼児の手の届きやすい所
ストラップを首に巻いて窒息する、電池やカードなどの付属品を飲み込むなどの恐れがあります。

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所
頭や足の上などに落下するとケガにつながるだけでなく、故障の原因にもなります。

●油煙や湯気の当たる所、湿気やほこりの多い所、振動が激しい所
内部に水やほこりが入ったり、激しい振動で内部部品が破損したりすると、発熱や火災、感電の原因になります。

⚠ 注　意

長時間ご使用にならないときは電池を外してください。
長時間電池を外すと、日付／時刻はリセットされますのでご使用の際は再度設定してください。

無理な操作を行なわないでください。
機器が破損してケガの原因となります。

三脚を取り付ける場合、カメラを回してつけないでください。

電池の液漏れ処理ついて

● 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときは、直ぐに水で良く洗い流してください。
● 目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、直ぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。

液晶モニターについて

●液晶モニターは、液晶の特性上、温度変化などで明るさに多少のムラが出ることがあります。
●液晶モニターは、高精度な技術を駆使して開発されており、鮮明度・画質等に優れていますが、画面の一部にドット欠けや常時点灯するドットが存在する場合があります。予めご了承ください。
●万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破損などでケガをする恐れがありますので、十分にご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう十分にご注意ください。

必要なアクセサリー

■付属品をお確かめください。

カメラの他に以下のものが同梱されています。梱包を開封後、速やかに全てのものが入っているかをご確認ください。万一、欠けているものがございましたら直ちに販売店へお問い合わせください。

	日本	日本以外
1 ） リチウムイオン電池（型番：DR－ LB 4 ）	○	○
2 ） 充電器（型番：DR－ BC－ K4 ）・電源コード	○	○
3 ） USB ケーブル	○	○
4 ） CD－ ROM	○	○
5 ） ストラップ	○	○
6 ） 使用説明書（本書）	○	―
7 ） クイックガイド	―	○
8 ） 品質保証書	○	○
9 ） オンラインラボ工房（CD－ ROM ）	○	―
１０ ） SD メモリーカード	○	○

■本製品は、以下の電源でご使用になれます。

１ ）リチウムイオン電池（同梱品または別売品）

- 電池および充電器の説明書をよくお読みになり、注意に従ってご使用ください。
- カメラで充電はできません。
- 充電式電池を廃棄する場合は、電池を購入したお店の回収システムに従うなどリサイクルにご協力ください。その他の電池を廃棄する場合は、その地域の条例に従ってください。
- 撮影可能枚数は、充電式電池の性能や使用状況により変化します。

※電池寿命については、Ｐ２０をご覧ください。

２ ）ご家庭の電源コンセント

- 専用のＡＣアダプター（別売、型番：ＤＲ―ＡＣ４）をつなぎます。

■別売品

●ＡＣアダプターキット（型番：ＤＲ―ＡＣ４）
●リチウムイオン電池　（型番：ＤＲ―ＬＢ４）
●カメラ用ソフトケース（型番：ＤＲ―ＣＣ４）

■対応記録媒体

本カメラには、約２ＭＢのメモリが内蔵されていますが、市販のカードをご使用の場合は、下記のカードをご用意ください。

- ・ＳＤメモリーカード
- ・マルチメディアカード
- ・メモリースティック

■ＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックについて

⚠ 注 意：

ＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックは精密な電子部品で作られています。次のような操作は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に行なわないでください。

- ●端子部に手や金属で触れないでください。静電気によって部品に損傷が生じる恐れがあります。ＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックを扱う前に、必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電にしている静電気を放電させてください。
- ●曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。
- ●熱、水分、直射日光を避けて使用、保管してください。
- ●読み込みや書き込みが終了するまでは絶対に電池／カード蓋を開けないでください。また、ＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックを抜かないでください。
- ●分解や改造はしないでください。

＊ＳＤロゴは商標です。
＊“Memory Stick”（“メモリースティック”）および MEMORY STICK TM は、ソニー株式会社の商標です。

重要！

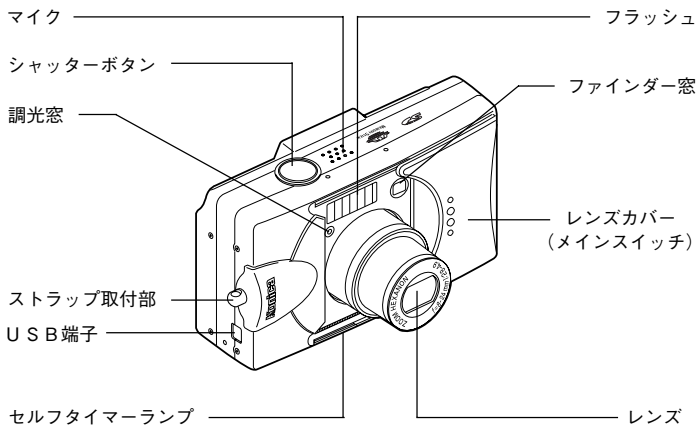
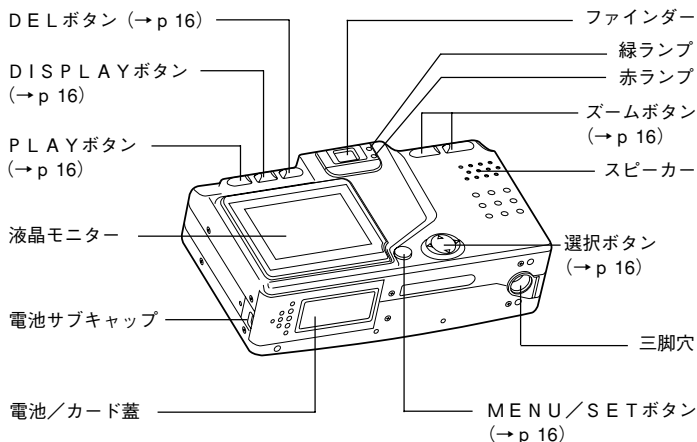
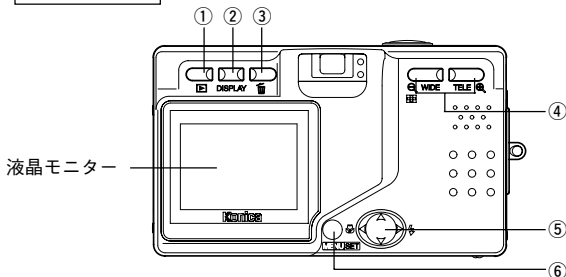
誤動作や故障などにより、記録内容が失われる場合がありますが、これによる損害賠償等の責任を当社では一切負いかねますので予めご了承ください。

- 大切なデータは必ずバックアップを取ってください。
- ＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックをパソコンで使用する際、ＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックに保存されているファイル（画像データ）の属性（読み取り専用）を変更しないでください。カメラで消去などの操作を実行したときに正常な動作ができない場合があります。
- パソコンでＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラによる画像データ以外のファイルを書き込んだりしないでください。
  そのＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックを入れても、変更したり新しく入れたりした画像は、カメラで再生できないばかりでなく、カメラの機能に障害を起こすことがあります。
- ＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックのフォーマットは、必ずカメラ本体で行なってください。パソコンでフォーマットした場合、ＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックが正常に使用できなくなることがあります。
- ＳＤメモリーカードおよびメモリスティックにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。このスイッチをロック方向へスライドさせると、カードへの書き込みが禁止され、カードに保存されている画像などのデータが保護されます。また、ライトプロテクトが掛かっているカードを使っての撮影や消去などはできません。
- 大容量のカードを使用する場合、カードチェックや消去が遅くなる場合があります。
- マルチメディアカードを使用した場合は、ＳＤメモリーカードに比べて、撮影・再生時の動作応答時間が低下しますが、カード自体の仕様に基づくもので、故障ではありません。

各部の名称

本　体

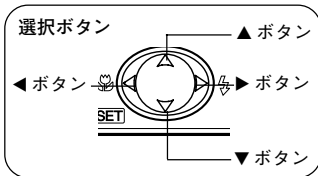
マイク
シャッターボタン
調光窓
ストラップ取付部
ＵＳＢ端子
セルフタイマーランプ
フラッシュ
ファインダー窓
レンズカバー
（メインスイッチ）
レンズ

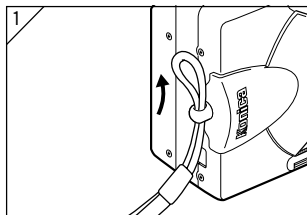
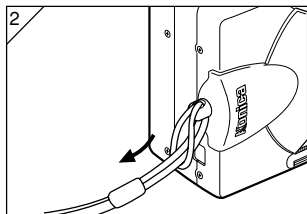
ＤＥＬボタン（→ｐ 16）
ＤＩＳＰＬＡＹボタン（→ｐ 16）
ＰＬＡＹボタン（→ｐ 16）
液晶モニター
電池サブキャップ
電池／カード蓋
ファインダー
緑ランプ
赤ランプ
ズームボタン（→ｐ 16）
スピーカー
選択ボタン（→ｐ 16）
三脚穴
ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタン（→ｐ 16）

操作ボタン

①ＰＬＡＹボタン
撮影した画像の再生、またはＰＬＡＹメニューの設定時に使用するボタンです。このボタンを使用する場合、カメラの電源はＯＮ／ＯＦＦ（ｐ２６）どちらの状態であっても構いません。

②ＤＩＳＰＬＡＹボタン
液晶モニターの消灯／点灯、画像情報の表示／非表示を切り替えるボタンです。電源をＯＮにすると液晶モニターが点灯しますので、ファインダーを使う撮影では液晶モニターを消灯させます。

③ＤＥＬボタン
不要な画像を消去するときに使用します。

④ズームボタン
光学ズームまたはデジタルズームの操作が行なえます。

⑤選択ボタン
▲、▼、◀、▶ボタンのいずれかを押してメニューや画像などを選択します。
次の場合に使用します。
- ・撮影モードの選択
- ・メニューの選択
- ・画像の選択
- ・拡大表示した画像のスクロール
- ・カスタム機能（ｐ１０７）

⑥ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタン
メニュー画面を表示させたり、選択したメニューの内容を確定させるときに使用します。

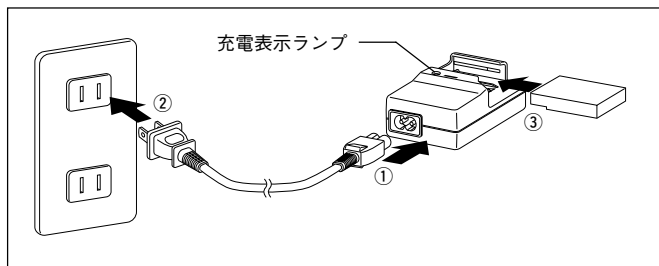
ストラップの取り付け方

1. ストラップ取付部にストラップ先端の細いヒモの部分を通します。

2. 通したヒモの輪に、もう一方のストラップの端を通して引っ張ります。

⚠ 警 告：
使用するときは、ストラップが首に巻きつかないように注意してください。特に、幼児や児童の首にかけないでください。誤って首に巻きつくと窒息の恐れがあります。

⚠ ぶら下げて持ち運ぶときは、カメラをぶつけないように注意してください。

電源を準備する

電池（付属品）を充電する

●はじめて電池をご使用になるときや、カメラの液晶モニターに「バッテリーがありません」というメッセージが表示されたときは、電池を充電してください。

1．充電器に電源コードを接続します。

2．電源プラグをＡＣ１００Ｖのコンセントに差し込みます。

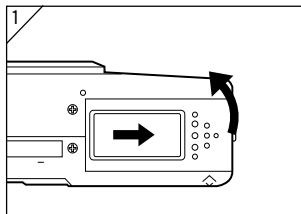
3．電池を充電器に差し込みます。

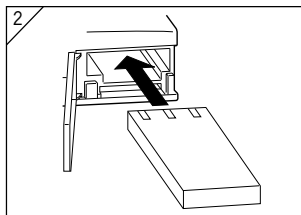
＊充電中は充電表示ランプが赤く点灯します。充電が終わると緑色の点灯に変わります。

4．充電終了後、充電器から電池を取り出し、電源プラグをコンセントおよび充電器から外してください。

＊充電時間は約１５０分です。周囲の温度が０℃～４０℃の範囲で充電してください。
＊充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
＊お買い上げ時や長時間使用しなかった場合は、ご使用になる前に必ず充電してください。
＊電池の寿命がくると、正しい充電を行なっても使用できる時間が短くなります。その場合、新しい電池（別売、型番：ＤＲ－ＬＢ４）と交換してください。
＊充電中、充電器や電池が暖かくなりますが異常ではありません。
＊電池接片が汚れている時は柔らかい乾いた布で拭き取ってください。汚れていると正しく充電されなかったり、充電時間が長くなることがあります。

電池（付属品）を入れる

●電池を入れるときや交換するときは最初に、カメラの電源がＯＦＦ（ｐ２６）であること、液晶モニターが消灯していることを確認し全てのスイッチをＯＦＦの状態にしてください。

１．電池／カード蓋を矢印方向にスライドさせて開きます。

⦸濡れた手で操作しないでください。感電する恐れがあります。

２．電池の端子側をカメラの前面に向け、電池を挿入します。
電池が正しく装着されたことを確認した後、電池／カード蓋を確実に閉めてください。

＊電池は必ず正しい向きで入れてください。向きを間違えると、液漏れや発熱などにより、ケガや汚損、あるいはカメラが損傷する恐れがあります。

●**電池残量の目安**

電池残量が少なくなると、電池残量表示が次のように変化します。
(電池残量は、液晶モニターに２段階で表示されます）

１）電池残量は充分です。

２）電池残量が不足しています。電池を交換（充電）してください。

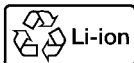
●電池寿命の目安（参考値）

撮影枚数		連続再生時間
液晶モニターＯＮ時	液晶モニターＯＦＦ時	
約１００枚	約２００枚	約９０ 分

＊当社試験条件：常温常湿、フラッシュ５０％発光、３０秒間隔で撮影、ズーム操作１方向１回、2592 × 1944pixel
＊電池寿命は、使用環境や撮影モード、撮影状況などにより異なります。
＊上記数値は参考値であり、保証値ではありません。
＊以下の条件では撮影をしなくても電力が消費してしまいますので､撮影可能枚数が減少することがあります。
・何度もシャッターボタンを半押しして、フォーカス動作を繰り返す
・ズーム動作を繰り返す
・再生モードで長時間液晶モニターを点灯させる
・パソコンとの通信時

⚠注意
・電池を長時間連続使用した後は電池が熱くなっていますので､やけどにご注意ください。
・カードのアクセス中や画像処理中（ｐ３２）のときは、電池／カード蓋を絶対に開けないでください。
・電池（ＤＲ－ＬＢ４）は、付属の充電器（ＤＲ－ＢＣ－Ｋ４）以外で充電しないでください。また、付属の充電器（ＤＲ－ＢＣ－Ｋ４）で、当社の専用電池（ＤＲ-ＬＢ４）以外は充電しないでください。
・電池を高温になる車内や炎天下、暖房器具の近くなど、６０℃以上になる所に放置しないでください。
・水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

●充電器（ＤＲ－ＢＣ－Ｋ４）の主な仕様
・入力電圧：AC100～240V(50/60Hz)
・定格入力：8VA(100V) 12VA(240V)
・定格出力：DC4.2V/600mA
・充電時間：約150分
・使用温度：0℃～40℃
・保存温度：-20℃～60℃
・外形寸法：55(W)×30(H)×90(D)mm
・質量　　：約70ｇ

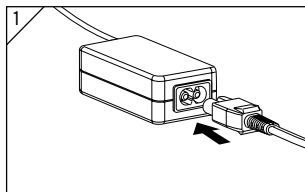
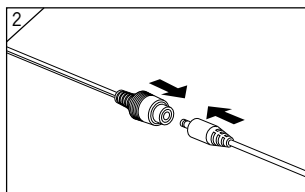
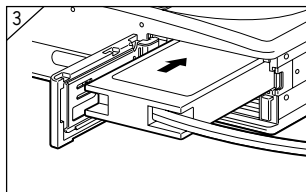
●リチウムイオン電池（ＤＲ－ＬＢ４）の主な仕様
・公称電圧：3.7V
・公称容量：820mAh
・使用温度：0℃～40℃
・外形寸法：31.8(W)×9(H)×49.8(D)mm
・質量　　：約25ｇ

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

●この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
●この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
●交換後不要になった電池､および使用済み製品から取外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか､ポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池リサイクルＢＯＸに入れてください。
●リサイクル協力店へのお問い合わせは以下へお願いします。
・製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
・｢リサイクル協力店くらぶ事務局｣
ホームページ http://www.baj.or.jp/shop/index.html

リサイクル時のご注意

⃠電池はショートさせないでください。火災や感電の原因となります。
⃠外装カバー（絶縁被覆・チューブなど）を剥がさないでください。電池の液漏れや発熱、発火、破裂の原因となります。
⃠電池を分解しないでください。液漏れや発熱、発火、破裂の原因となります。

ＡＣアダプター（別売）をつなぐ

●電池の消耗を気にせずに、撮影・再生・データ転送（ＵＳＢ接続）するには、専用のＡＣアダプターキット（別売、型番ＤＲ－ＡＣ４）のご使用をおすすめします。
●ＡＣアダプターは必ず専用（別売）のものをご使用ください。指定外のものをご使用になった場合、故障や火災、感電の恐れがあります。
●最初に、カメラの電源がＯＦＦであること、液晶モニターが消灯していることを確認し、全ての電源をＯＦＦの状態にしてください。
●本書の「安全上のご注意」（ｐ７～１０）と、ＡＣアダプターに付属の注意書を参照の上、正しくお取り扱いください。

１．電源コードにＡＣアダプターを接続し､電源プラグをＡＣ１００Ｖのコンセントに差し込みます。

２．バッテリータイプアダプターの接続プラグをＡＣアダプタープラグに差し込みます。

3．電池／カード蓋を開けた後、電池サブキャップを外します。
電池室にバッテリータイプアダプターを差し込み、電池／カード蓋を確実に閉めます。

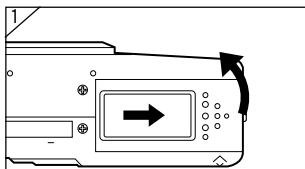
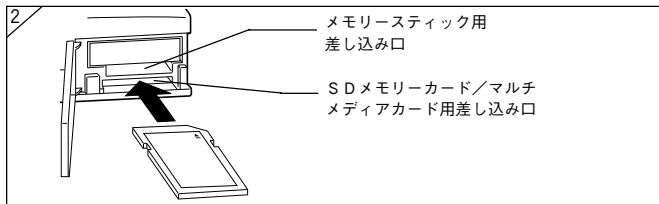
※使用後は、必ずカメラの電源をＯＦＦにし、バッテリータイプアダプターの接続プラグをＡＣアダプターから抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⃠濡れた手で操作しないでください。感電する恐れがあります。

カードを入れる／取り出す

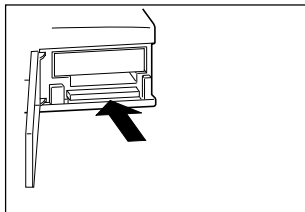
●このカメラには画像データや撮影日時等の撮影データの記録メディアとして、約２ＭＢのメモリが内蔵されており、カードを入れなくても非常用として記録することができます。市販のカードをご使用の場合は、ＳＤメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックのいずれかをご用意ください（以下、全てをカードと呼びます）。

●最初に、メインスイッチがＯＦＦ（レンズカバーを閉じた状態）であること、液晶モニターが消灯していることを確認し、全ての電源をＯＦＦの状態にしてください。電源が入っているとカメラ本体やカードが破壊する恐れがあります。

入れ方

1． 電池／カード蓋を開けます。

2． カードのラベルをカメラ前面に向け、カードの切り欠き部を差し込み口に向けて、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

＊カードは必ず正しい向きで入れてください。挿入方向を間違えて無理に差し込むとコネクタ部が破壊されてしまいます。
＊カードの差し込み口は２つ有ります。ＳＤメモリーカードまたはマルチメディアカードを使用する場合はカメラ前面に対して後ろ側に、メモリースティックを使用する場合は手前側に差し込んでください。

3． 電池／カード蓋を元の通りに閉めてください。

取り出し方

1．電池／カード蓋を開けます。

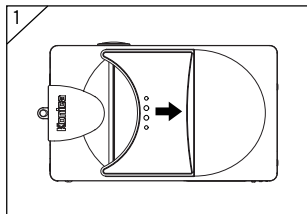
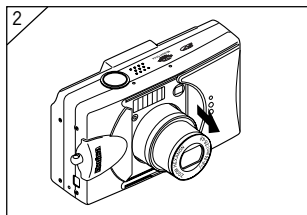
2．挿入されているカードを軽く押し込むとロックが外れ、カードが少し出てきます。カードが出てきたら抜き取ってください。

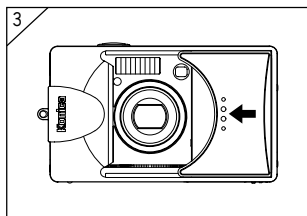
3．電池／カード蓋を元の通りに閉めてください。

注意！ ＊カードの出し入れは必ず全ての電源をＯＦＦにし、ファインダーＬＥＤの赤ランプが消灯していることを確認してから行なってください。
カードのアクセス中、または画像処理中などの場合は、液晶モニターに「コピー中です」などが表示され、ファインダーＬＥＤには赤ランプが点灯します。
赤ランプの点灯中に電池／カード蓋を開けると、画像の書き込みが中断され、動作が正常に行なわれないことがあります。赤ランプ点灯中は絶対に電池／カード蓋を開けないでください。

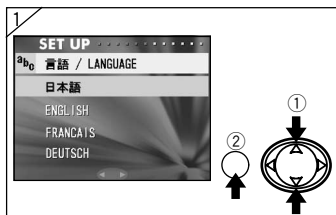
※カードを入れると、カードを優先して記録します。（カードを入れていない場合は、内蔵メモリに記録されます。この場合、記録画像サイズは６４０×４８０ pixel のみとなります。）

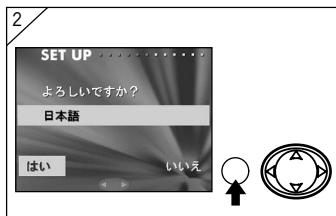
※また、このカメラでは、ＳＤメモリーカード（またはマルチメディアカード）とメモリースティックの組み合わせで２枚同時に差し込んでおくことができます。
この場合、先に使用していたカードに優先して記録します。セットアップメニューにより切り替えることもできます（ｐ１０５）。

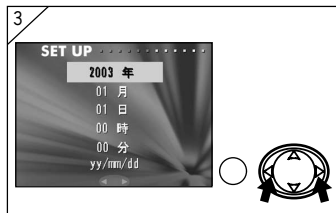
電源のＯＮ／ＯＦＦ操作

1．レンズカバー（メインスイッチ）を、矢印方向へ止まるまでゆっくりスライドさせて開けます。

2．レンズが撮影位置（広角側）まで繰り出して、カメラの電源がＯＮになります。

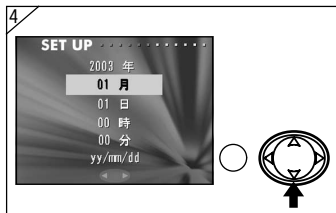
＊電源ＯＮで撮影可能な状態になります。また、液晶モニターが点灯します。

3．電源をＯＦＦにするときは、レンズカバーを一度矢印方向に少しスライドさせてください。電源がＯＦＦになり、レンズが収納されます。レンズが最後まで収納されたことを確認の上、レンズカバーを最後まで閉じてください。

メニューの言語／日付・時刻を合わせる

●カメラを購入後はじめて使用するときは、言語選択および日時設定画面が自動的に表示されます。以下の手順で言語と日付・時刻の設定をしてください。
●充分に充電された電池、またはＡＣアダプターが装着されていることを確認してください。

1．レンズカバーを開きカメラの電源をＯＮにするか、またはＰＬＡＹボタンを押します。

自動的に言語選択画面が液晶モニターに表示されます。
▼または▲ボタンを押して希望の言語を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

2．言語選択の確認画面が表示され、「はい」が選択されていますので、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。
＊▶ボタンで「いいえ」を選択してＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、設定を無効にして１の画面に戻ります。

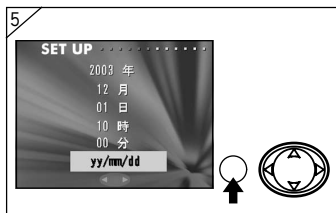
※言語選択が完了すると、続けて「日時設定」画面が表示されます。

3．「年」が選択されています。◀または▶ボタンを押して「年」を合わせます。

＊２０５０年１２月３１日までの日付・時刻が設定できます。

4．１）「年」を合わせたら、▼ボタンを押します。「月」の設定モードに入ります。

２）ｐ２７ー３と同様に、◀または▶ボタンを押して「月」を合わせます。

＊上記１）と２）の操作を繰り返して日付と時分、日付形式を合わせます。

＊日付形式は、yy/mm/dd、dd/mm/yy、mm/dd/yy の中から選択できます。

＊▲ボタンを押すと前の設定画面に戻り選択し直すことができます。

5．設定が全て終わったらＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

6．設定完了後は・・・、

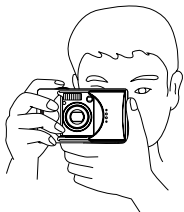
・カメラのメインスイッチをＯＮ（レンズカバーを開く）にしてから設定した場合は、レンズが広角位置まで繰り出し撮影可能な状態になります。

・ＰＬＡＹボタンを押して設定した場合は、再生画像になります。

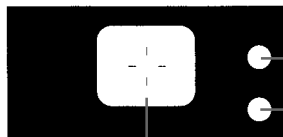
＊日付・時刻は、バックアップ電池によって保持されます。カメラの電池を抜いたままでも約２４時間は内容が保持されます。
長時間電池を抜いていた場合は、再設定してください（ｐ１０３）。

＊バックアップ電池が未充電の場合には、日付・時刻が保持されません。
日付・時刻を合わせた後、カメラの電池を３時間位は抜かないでください。

撮影する

カメラの構え方

●カメラは、両手でしっかり持ち、ヒジを軽く締めると構えが安定します。
●縦位置の撮影では、フラッシュが上になるように構えてください。

＊構えた指や毛髪、ストラップなどが、レンズやフラッシュ、調光窓などに掛からないようにご注意ください。

ファインダーと表示ランプ

＊マクロ撮影時（ｐ４２）は、液晶モニターを使った撮影（ｐ３５）をおすすめします。ファインダーを使って撮影すると、実際に見える範囲と写る範囲にずれが生じます。

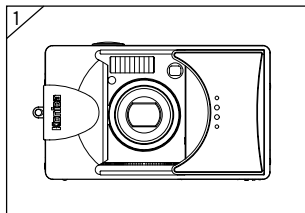
●ファインダーＬＥＤ表示

ファインダーＬＥＤの表示状態と意味は次の通りです。

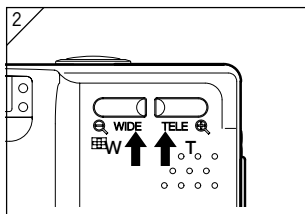
・緑ランプ：（点灯）撮影準備完了表示（フラッシュなし）
（点滅）オートフォーカス（ＡＦ）不能警告

・赤ランプ：（点灯）フラッシュ充電中表示、カードフォーマット中表示
（点滅）手ぶれ警告

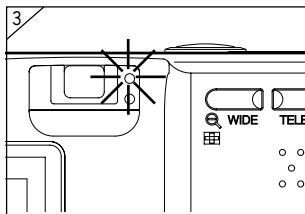
・緑ランプと赤ランプ：
（点灯）撮影準備完了表示（フラッシュあり）
ＵＳＢケーブル接続中表示
（点滅）システムエラー表示、カードの容量不足・不良・未フォーマット表示、電池残量不足警告
（緑ランプ点滅・赤ランプ点灯）
カードアクセス中表示、画像処理中・圧縮伸張中・その他の処理中表示

ファインダーを使って撮影する

1．レンズカバーを開けて、電源をＯＮにします。

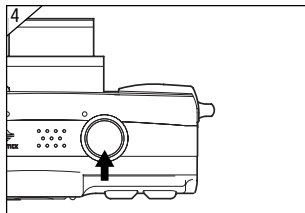
＊電源ＯＮで、液晶モニターが点灯します。ファインダーを使う撮影では、電池の消耗を防ぐため、ＤＩＳＰＬＡＹボタンを押して液晶モニターを消灯させてください。

＊前面のレンズが汚れていたら柔らかい乾いた布できれいに拭きとってください。

2．ファインダーをのぞいて構図を決め、ズームボタンを押して被写体の大きさを決めます。
また、ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスマークを合わせます。

＊ズームボタンのＴ側を押すと被写体は大きくなり（望遠）、W側を押すと被写体は小さくなります（広角）。

＊ピントを合わせる被写体が画面中央にないときは「フォーカスロック撮影」（ｐ３４）を行なってください。

3．シャッターボタンを半押しにしてください。
緑ランプが点灯し、ピントと露出が固定されます。

＊ピントが合いにくい場合は緑ランプが点滅します。ｐ３３をご覧ください。

＊撮影時に手ぶれが発生する可能性がある場合は、ファインダーＬＥＤに赤ランプが点滅します。

4．シャッターボタンをさらに深く押し込み、シャッターをきってください。音が鳴れば撮影は完了です。
このあと、画像をカード（または内蔵メモリ）に書き込む動作が開始されます。

＊サウンド設定（ｐ１０２）がＯＦＦの場合、音は鳴りません。

5．カードへの書き込み中は、ファインダーＬＥＤには赤ランプが点灯、緑ランプが点滅し、前面のセルフタイマーランプが点灯します。

＊サウンド設定（ｐ１０２）でビープ音をＯＦＦに設定するとセルフタイマーランプは点灯しないようになります。
＊カードへの書き込み中は他の操作はできません。

赤ランプ点灯および緑ランプ点滅が消灯したら記録の完了です。

⃠赤ランプ点灯および緑ランプ点滅中は、電池／カード蓋を絶対に開けないでください。

6．撮影が終わったら、レンズカバーを閉じて、電源をＯＦＦにしてください。

日中（通常）撮影の距離

焦点距離	撮影距離
広角側（※1）	０．５ｍ ～ ∞
望遠側（※2）	０．８ｍ ～ ∞

※1．１３５サイズカメラ換算で３９ｍｍ相当
※2．１３５サイズカメラ換算で１１７ｍｍ相当

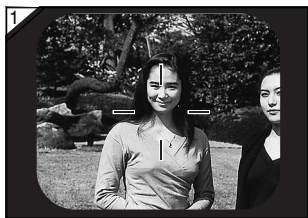
＊上記範囲よりも近くのものを撮影したいときは、マクロ撮影モードをご使用ください（ｐ３９、ｐ４２）。

●シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは・・・

ピントを合わせにくい被写体か、被写体が暗すぎる（またはその両方）可能性があります。このような場合、以下の手順を実行してください。

・被写体に近すぎないことを確認し、被写体をファインダー中央のオートフォーカスマークに合わせてください。(撮影距離についてはｐ３２をご参照ください)
・被写体が暗い場合（日陰の人物など）は、フラッシュを使用してください。（ｐ３８、ｐ４０～ｐ４１）
・異なる被写体を使用してオートフォーカスと露出を合わせてください。同じ明るさで同じ距離のものに向けてフォーカスロックをしてから撮影します。（ｐ３４参照）

フォーカスロック撮影

●ピントを合わせたい被写体が画面中央から外れる場合は、フォーカスロック撮影をしてください。

1．ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスマークを合わせ、シャッターボタンを半押しにしてください。緑ランプが点灯し、ピント位置が固定されます。

＊フォーカスロックと同時に露出も固定されます。

＊半押しした指をシャッターボタンから離すとフォーカスロックは解除され、やり直しができます。

2．シャッターボタンを半押しにしたまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く押し込みシャッターをきってください。

＊構図を決め直すときに撮影距離を変えないでください。距離が変わったときはやり直してください。

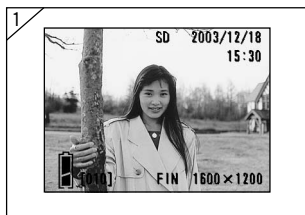
●次のような被写体ではピントが合わせにくいことがあります。

・コントラスト（明暗差）のないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
・横線だけで凹凸のないもの
・動きの速いもの
・低輝度（暗い所）のもの
・強い逆光や反射光があるとき
・蛍光灯などのちらつきがあるもの

以上のようなときは、同じ明るさで同じ距離のものに向けてフォーカスロックをしてから撮影してください。

液晶モニターを使って撮影する

●ファインダーだけでなく、液晶モニターを見ながら撮影することもできます。
●電池の消費が増えますので、充電された予備の電池（別売、型番：ＤＲ-ＬＢ４）のご準備、もしくはＡＣアダプター（別売、型番：ＤＲ-ＡＣ４）のご使用をおすすめします。

1

１．レンズカバーを開けて電源をＯＮにすると、液晶モニターが点灯し、スルー画像（レンズを通した画像）が映し出されます。

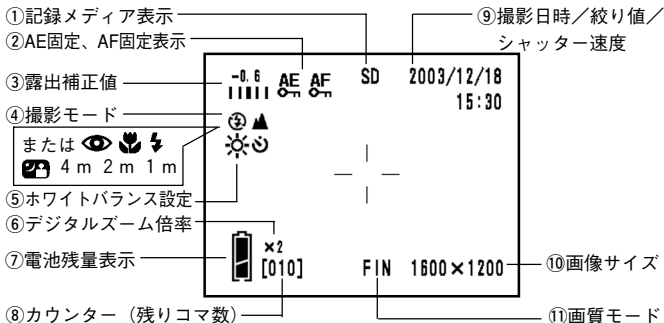
＊日時表示は約５秒間で消灯します。

２．液晶モニターを見ながら構図を決め、撮影します。

＊撮影手順は「ファインダーを使って撮影する」（ｐ３１～ｐ３２）と同じです。
＊スルー画像のときにシャッターボタンを半押しすると絞り値とシャッター速度が表示されます。
＊カードへの書き込み処理が完了するとスルー画像に戻ります。

●撮影画像表示

液晶モニターを使った撮影では画像の他に、次のような情報が表示されます。

＊情報を表示させない設定も可能です（ｐ１０１）。

①記録メディア表示
使用記録メディアの種類を表示します。
- ＳＤメモリーカードまたはマルチメディアカード：ＳＤ
- メモリースティック　：ＭＳ
- 内蔵メモリ　：ＩＮ

注）マルチメディアカードを使用の場合でも、種類は「ＳＤ」と表示されます。

②AE固定、AF固定表示
AE固定（ｐ１０８）、AF固定（ｐ１０７）機能使用時に表示されます。

③露出補正値
露出補正値が表示されます。露出補正の設定方法はｐ５１，ｐ１０７をご覧ください。

④撮影モード
選択されている撮影モードが表示されます。
＊各撮影モードの詳細は、ｐ３８～ｐ４３をご覧ください。

⑤ホワイトバランス設定
ホワイトバランスを固定した場合にアイコンが表示されます。設定方法はｐ５２、ｐ１０７をご覧ください。

⑥デジタルズーム倍率
デジタルズーム機能（ｐ５６）使用時に表示されます。

⑦電池残量表示
電池を使用している場合に電池残量を２段階（ｐ１９）で表示します。

撮影する（つづき）

⑧カウンター
撮影可能な残りコマ数が表示されます。

⑨撮影日時／絞り値／シャッター速度
1）日時は、電源ON後と、RECメニュー画面（p44）および再生画像（p70）からスルー画像に戻ったときに表示されますが、約5秒間で消灯します。
2）シャッターボタン半押しで絞り値とシャッター速度が表示されます。
3）マニュアル露出（p62）設定時に絞り値とシャッター速度が常時表示されます。

⑩画像サイズ
撮影中の画像サイズを表示します。

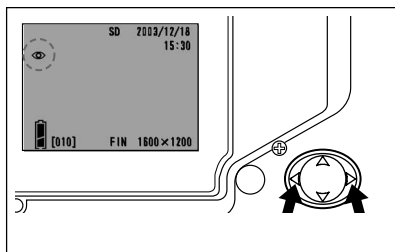
⑪画質モード
1）通常は、撮影中の画質モードを表示します。
2）ムービー撮影中は、と表示されます。

●オートパワーオフ機能について

レンズカバーを開けてカメラの電源をＯＮのまま一定時間以上操作を行なわなかった場合は、オートパワーオフ機能が働き、電源がＯＦＦ状態（休止状態）になります（レンズは出たままの状態です）。
シャッターボタンやズームボタン、他のボタンを押すと、撮影できる状態に戻ります。

※撮影が終了したり長時間撮影しない場合は、レンズカバーを閉じておいてください。
※カメラの電源がＯＦＦになる時間は、初期値では「３分」に設定されています。設定時間はセットアップメニューによって変更することができます（ｐ１０４）。
※ＡＣアダプター使用時も、オートパワーオフ機能が働きます。

撮影モードを選択する

● 各種の撮影モードを選択することにより、被写体に最も適した状態で撮影することができます。
● 一度設定したモード（セルフタイマー以外）は固定され、そのまま撮影が続けられます。撮影が終わったらＡＵＴＯモード（表示なし）に戻しておくことをおすすめします。
● セルフタイマーモードは、10 秒の設定(初期設定)では撮影毎に解除され、3 秒の設定（ｐ１０３）では撮影後も設定が保持されます。
● カメラの電源をOFFにすると撮影に関するモードは解除され再度ONにするとAUTO（表示なし）に戻ります。
● また、カメラの電源を OFF にしてもフラッシュに関するモードは記憶され、電源 ON すると電源 OFF 前のモードが設定されています。
● カスタム機能（ｐ１０７）を使用することで、各種撮影モードを個別に無効に設定することができます。

１．電源をＯＮにし、液晶モニターを点灯させます。

２．◀または▶ボタンを押して、液晶モニターに希望の撮影モードマークを表示させます。

※ ▶ボタンを押すと、次のモードが選択できます。

1) ＡＵＴＯ（フラッシュ自動発光）モード （ｐ４０）
2) 赤目軽減撮影モード （ｐ４０）
3) フラッシュ強制発光モード （ｐ４１）
4) ポートレート夜景撮影モード （ｐ４１）
5) フラッシュ発光禁止モード （ｐ４１）

＊ ▶ボタンを押す毎にモードマークが順次表示され、循環します。

撮影モードを選択する（つづき）

※◀ボタンを押すと、次のモードが選択できます。

1) ＡＵＴＯモード（表示なし）
2) マクロ撮影モード （ｐ４２）
3) 遠景撮影モード （ｐ４２）
4) セルフタイマー撮影モード （ｐ４３）
5) セルフタイマー＋マクロ撮影
6) セルフタイマー＋遠景撮影
7) ４ｍフォーカス固定撮影モード （ｐ４３）
8) ２ｍフォーカス固定撮影モード （ｐ４３）
9) １ｍフォーカス固定撮影モード （ｐ４３）

＊◀ボタンを押す毎にモードマークが順次表示され、循環します。

フラッシュモードを切替える

ＡＵＴＯ（フラッシュ自動発光）モード

●通常モードです。カメラの電源をＯＮにしたときは、ＡＵＴＯ（フラッシュ自動発光）に設定されています。液晶モニターにマークは表示されません。
●暗い所ではフラッシュが自動的に発光します。

＊フラッシュ撮影後の赤ランプ点灯は、充電中ですから、この間シャッターはきれません。
＊フラッシュ発光時のシャッター速度は広角側で最長約１／６０秒まで、望遠側で最長約１／９０秒までとなります。手ぶれにご注意ください。
＊人物のフラッシュ撮影には「赤目軽減撮影」をおすすめします。

フラッシュ撮影の距離

焦点距離	撮影距離
広角側（※1）	０．５ｍ～３．５ｍ
望遠側（※2）	０．５ｍ～２．０ｍ

※1. １３５サイズカメラ換算で、３９ｍｍ相当。
※2. １３５サイズカメラ換算で、１１７ｍｍ相当。

＊撮影範囲を外れた場合、近すぎると画像が明るすぎることがあり、遠すぎるとフラッシュ光が届かず暗い画像になることがあります。撮影後、液晶モニターで撮影画像を確認することをおすすめします。

赤目軽減撮影モード

●フラッシュ撮影をしたときに目が赤く輝いて写る“赤目現象”を軽減させることができます。
●シャッターをきると、フラッシュが予備発光した後に本発光を行い撮影が終わります。

＊フラッシュが本発光するまでは、カメラを動かしたり、撮られる人が動かないようにご注意ください。
＊予備発光や本発光を正面から見ていない場合や、被写体までの距離が遠い場合は、赤目軽減の効果が表れにくくなることがあります。
＊フラッシュはＡＵＴＯ発光です。明るい所ではフラッシュは発光しません。

フラッシュ強制発光モード

●日陰や人工照明下などで人物の顔にかかった強い陰をやわらげるときや、逆光のときなどにお使いください。
●周囲の明るさに関係なく、常にフラッシュが発光します。

ポートレート夜景撮影モード

●夜景や夕暮れをバックにした人物を撮影するときなどにお使いください。
●スローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

*シャッター速度が遅くなりますので、手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。
*被写体が動いているときはぶれて写ります。

フラッシュ発光禁止モード

●フラッシュ使用が禁止されている場所（美術館など）や夜景、室内照明を利用して撮影するときなどにお使いください。
●暗い場所でもフラッシュは発光しません。

*暗い場所ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。
*シャッターボタン半押しで赤ランプが点滅したときは光量不足で写真が暗くなる警告です。

至近距離／遠距離を撮影する

マクロ撮影モード

●被写体に近づいて撮影したいときにお使いください。
●被写体の距離が近いと、ファインダー内の画像と実際に写る範囲にずれが生じます。液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
＊近距離の撮影では手ぶれを防ぐため、三脚のご使用をおすすめします。
＊セルフタイマーと組み合わせて撮影できます。
＊近距離でのフラッシュ撮影では撮影した画像が明るすぎることがあります。フラッシュ撮影の距離はｐ４０をご覧ください。

マクロ撮影の距離

焦点距離	撮影距離
広角側	６ｃｍ～∞
望遠側	０．５ｍ～∞

遠景撮影モード

●風景や建物など遠くにあるものを撮影するときにお使いください。
＊夕・夜景など暗いときはシャッター速度が遅くなりますから、手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。
＊フラッシュは発光しません。
＊セルフタイマーと組み合わせて撮影できます。

セルフタイマーを使う

セルフタイマー撮影モード

●三脚をご使用ください。
●シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅し、約１０秒後にシャッターがきれます。
＊セルフタイマーの作動をキャンセルしたいときは､レンズカバーを閉じてください。
＊セルフタイマー（１０秒）モードは撮影終了で解除されます。続けてセルフタイマー撮影する場合は、その都度設定し直してください。
＊セルフタイマーの作動時間はセットアップメニューによって「3 秒」に設定することもできます（ｐ１０３）｡「3 秒」に設定すると、撮影後もモードは固定され、続けてセルフタイマー撮影が行えます。

フォーカスを固定して撮影する

フォーカス固定撮影モード

●フォーカス（ピント）を固定して撮影したいときにお使いください。
●設定できる距離は４ｍ、２ｍ、１ｍです。
＊このモードの初期設定はＯＦＦになっています。
このモードを使用するときは､カスタムモードメニューの中から｢マクロ｣を選択し、モードの設定をＯＮにしてください（ｐ１０９の3を参照）。

ＲＥＣメニューを使う

●ＲＥＣメニューを使うことにより、お好みの設定で撮影することができます。「ＲＥＣ（応用）メニュー」（初期設定）、または「ＲＥＣ（基本）メニュー」（ｐ６７）を使用して設定します。
●各メニューで設定した内容は、特に記載のない限り、電源のＯＮ／ＯＦＦに関わらず、設定を変えるまで保持されます。

ＲＥＣ（応用）メニューを使った設定

１．電源をＯＮにし、液晶モニターを点灯（スルー画像表示）させます。
ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すとＲＥＣメニュー画面が表示されます。

２．▼または▲ボタンを押して設定するメニューを選択します。ボタンを押す毎にメニューモードは次のように切替わります。

▼	▲	
	記録画素数	（→　ｐ４６）
	ムービーＯＮ	（→　ｐ４９）
	露出補正	（→　ｐ５１）
	ホワイトバランス	（→　ｐ５２）
	測光方式	（→　ｐ５４）
	モノクローム	（→　ｐ５５）
	デジタルズーム	（→　ｐ５６）
	モニター調整	（→　ｐ５７）
	ボイスメモ	（→　ｐ５８）
	アフレコ	（→　ｐ５９）
	スローシャッター	（→　ｐ６１）
	マニュアル露出ＯＮ	（→　ｐ６２）
	画質設定	（→　ｐ６４）
	セットアップ	（→　ｐ６６）
	メニュー終了	

3．メニュー選択終了後、▶ボタンを押すと、選択したメニューの設定画面（３の画面）が表示されます。▼または▲ボタンを押して希望の内容を選択後、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、設定が完了して１の画面に戻ります。

4．１の画面（ＲＥＣメニュー画面）のとき、▶ボタンを押すか、または「メニュー終了」を選択してからＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンまたは▶ボタンを押すと、ＲＥＣメニューモードは終了し、スルー画像（撮影可能な状態）に戻ります。

＊各メニューの詳細設定については、以降のページをご覧ください。

＊メニューの設定途中でもシャッターボタンを半押しするとスルー画像（撮影可能な状態）に戻ります。

画像サイズと圧縮率を組み合わせる

●４種類の画像サイズと、２種類の圧縮率の組み合わせを選択できます。
●同じカード上で、各画像毎に異なる画像サイズと圧縮率を設定することができます。設定を切替えるたびに、撮影可能な枚数も変更されます。撮影可能枚数は液晶モニターに表示されます。
●画質を優先する場合は「ＦＩＮＥ」を、枚数を優先する場合は「ＮＯＲＭＡＬ」を選択してください。

１.「記録画素数」を選択し、▶ボタンを押します。

２. ▼または▲ボタンを押して画像サイズまたは圧縮率を選択し、▶ボタンを押します。

３. 画像サイズを選択
▼または▲ボタンを押して希望の画像サイズを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。２の画面に戻り選択したサイズが表示されます。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして２の画面に戻ります。

４．圧縮率を選択

▼または▲ボタンを押して希望の圧縮率を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。２の画面に戻り、選択した圧縮率が表示されます。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして２の画面に戻ります。

●画像サイズと画素数（横）×（縦）

1）2592×1944pixel（約504万画素）

最高の画質となります。大事な画像を保存しておきたいときや、パソコンに取り込んで編集したいときは、このモードに設定してください。
大きいサイズでプリントする際にも適したモードです。

2）2048×1536pixel（約314万画素）

通常の記念写真などをパソコンの画面に表示、プリントする場合に適したモードです。

3）1600×1200pixel（約192万画素）

メモリーの消費を気にせずに高画質の撮影が行えます。メモリーの空き容量が少ない場合や数多くの撮影を行うときに適したモードです。

3）640×480pixel（約30万画素）

ファイルサイズが小さく、メールで画像を送信したり、ホームページ上に掲載する写真を撮影するなどの用途に適したモードです。

●撮影可能枚数の目安（音声・動画なし）

画像サイズ	圧縮率	ＳＤメモリーカード６４ＭＢ使用時	内蔵メモリ
2592×1944	FINE	約　３０　枚	―
	NORMAL	約　５１　枚	―
2048×1536	FINE	約　５３　枚	―
	NORMAL	約　８５　枚	―
1600×1200	FINE	約　９１　枚	―
	NORMAL	約　１６０　枚	―
640×480	FINE	約　３２０　枚	約　１０　枚
	NORMAL	約　６４０　枚	約　２０　枚

＊撮影する被写体によって撮影可能枚数が増減することがあります。
＊画像以外のファイルがあるとき､記録画素数や撮影モードを切替えながら撮影した場合は､撮影可能枚数はこの表の限りではありません｡表の数値は目安としてください。

ムービー（動画）を撮影する

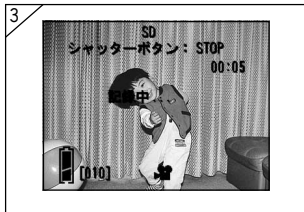
●このモードに設定するとムービー（動画）撮影ができます。
●撮影時間は最長約３０秒で、音声付きのムービー撮影ができます。
記録画素数は、３２０×２４０ Pixel です。
●ムービー撮影の場合、液晶モニターは常に点灯します。
ＤＩＳＰＬＡＹボタンを押しても液晶モニターは消灯できません。
撮影は液晶モニターを見ながら行なってください。

1

1.「ムービーＯＮ」を選択し、▶ボタンを押します。

2

2. スルー画像に戻り、2の表示が同時に点灯してムービー撮影が可能な状態になります。

＊ムービー撮影を行わない場合、MENU/SETボタンを押して「ムービーＯＦＦ」を選択し、▶ボタンを押してください。通常のスルー画像に戻ります。

３．シャッターボタンを押すと、ムービー撮影がスタートします。約３０秒間の撮影ができます。

＊シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
＊残り時間がなくなると自動的に撮影が終了します。途中で止めたい場合は、シャッターボタンを再度押してください。
＊撮影中は、画像右上に経過経間が表示されます。

注意：１）撮影と同時に音声が録音されますので、撮影中に指などでカメラ本体上面のマイク（ｐ１４参照）をふさがないようご注意ください。
２）カメラのメイン電源がＯＮの間は続けてムービー撮影ができますが、電源をＯＦＦにするとムービー撮影モードは解除されます。
再度電源をＯＮにしてムービー撮影を行なうときは設定し直してください。
３）シャッターボタンを押した後（ムービー撮影中）は、光学ズームはできません。
４）デジタルズーム機能は使用できません。
５）音声なしのムービー撮影はできません。

露出補正を調整する

●意図的に撮影画像全体を明るくしたり暗くしたい場合など、露出の調整を行います。
●露出補正は、±１.５ＥＶの範囲を０.３ＥＶステップで調整できます。
●補正値は液晶モニターに表示されます。

１. 「露出補正」を選択し、▶ボタンを押します。

２. スルー画像となり、露出補正調整バーが表示されます。
▶ボタンを押すとカーソルが＋側に動き、◀ボタンを押すと－側に動きます。
希望の補正値（明るさ）を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、１の画面に戻ります。

＊薄暗い所の被写体では補正を行なっても設定後の変化が分かりにくいことがあります。その場合、前後に何段階か補正値を変えて数枚撮影し、適切な画像を選択することをおすすめします。
＊フラッシュを使用した場合は、補正効果が不充分になる場合があります。

ホワイトバランスを合わせる

●画像の色調は光源の種類によって変化します。殆どの場合はＡＵＴＯで撮影できますが、撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影したい場合は設定を変更してください。
●設定したモードは液晶モニターにアイコンが表示されます。（AUTOでは表示しません。）

1．「ホワイトバランス」を選択し▶ボタンを押します。

2．▼または▲ボタンを押して希望のモードを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、1の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。
＊通常の撮影に戻すときは「AUTO」に設定してください。

※設定できるモード

・ＡＵＴＯ（初期設定）：カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。

・ 昼光 ：晴れた野外での撮影に適しています。

・ 曇天 ：曇天や日陰での撮影に適しています。

・ 蛍光灯 ：蛍光灯下での撮影に適しています。

・ 白熱灯 ：白熱電球下での撮影に適しています。

※ホワイトバランスについて

人間の目には、照明する光の種類が変わっても、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラ等では、被写体周辺の照明光の色に合わてバランス調整を行なって初めて、白い被写体は白に見えます。この調整を、ホワイトバランスを合わせるといいます。

測光方式を変更する

●初期設定では中央重点測光になっていますが､スポット測光に 変更することができます。
●スポット測光では、被写体の狙い部分に確実に露出を合わせることができます。

1．「測光方式」を選択し､▶ボタンを押します。

2．▼または▲ボタンを押して「スポット」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、1の画面に戻ります。
＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

※中央重点測光

主に撮影画面全体の中央部を測光して露出を決定します。特に画面中央部の被写体の明るさに合わせて撮影したい場合に適しています。

※スポット測光

撮影画面全体の中心部のみを測光して露出を決定します。逆光や被写体と背景とのコントラストの差が大きいなど、撮影画面の一部分の明るさに合わせて撮影したい場合に適しています。

セピア色や白黒で撮影する

●モノクローム画像（セピア、白黒）を撮影することができます。

1.「モノクローム」を選択し、▶ボタンを押します。

2. ▼または▲ボタンを押して「セピア」または「白黒」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、1の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

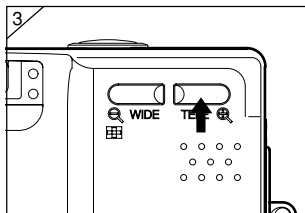
＊通常のカラー撮影に戻すには、2の画面でOFFを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押してください。

デジタルズーム機能を使う

●光学ズームの最大倍率から更に2倍、3倍に拡大して撮影することができます。
●デジタルズームを使っての撮影は､液晶モニターをご使用ください。電子的な制御で拡大しているため、ファインダーを使っての撮影はできません。
●ムービー撮影では、デジタルズーム機能は使えません。

1．「デジタルズーム」を選択し､▶ボタンを押します。

2．▼または▲ボタンを押して「ＯＮ」を選択し､▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。
設定が完了し、1の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

3．1の画面で◀ボタンを押すと、スルー画像に戻ります。撮影の際は、ズームボタンのT側を止まるまでいっぱいに光学ズームさせた後、一旦ボタンから指を離し、再度Tボタンを押し続けるとデジタルズームとなります。液晶モニター画像を確認しながら撮影してください。

＊液晶モニターにはズーム倍率（×2､×3）が表示されます。
＊元に戻すにはW側を押してください。

液晶モニターの明るさと色合いを調整する

●撮影場所の明るさに合わせて、液晶モニターの明るさを調整できます。また、液晶モニターの色合い（赤、緑、青）を調整することができます。

1.「モニター調整」を選択し、▶ボタンを押します。

2. スルー画像となり、モニター調整画面が表示されます。
▼、▲ボタンを押すと選択モード内のカーソル（◁）が動きますので、調整するモード（明るさまたは色合い）を選択します。
◀、▶ボタンを押すと画面下の調整バーのカーソルが動きます。▶ボタンを押すと十側に動き、画面が明るく（色合いの場合は濃く）なります。◀ボタンを押すと一側に動き、画面が暗く（色合いの場合は薄く）なります。
お好みの明るさと色合いに調整し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、１の画面に戻ります。

＊色合いは相対値として設定されます。例えば、最も赤くしたい場合は、赤を一番右側に設定するだけでなく、緑と青を一番左側に設定することで赤がより強調されます。

ボイスメモ機能を使う

●一回、最長約３０秒までの音声のみの録音ができます。
●カメラ本体上面のマイクをふさがないようご注意ください。

１．「ボイスメモ」を選択し、▶ボタンを押します。

２． ２の画面が表示され、録音可能な状態になります。
シャッターボタンを押すと録音を開始します。

＊シャッターボタンを押さずに、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと録音を開始せずに１の画面に戻ります。
＊残り時間がなくなると自動的に録音が終了します。途中で止めたい場合は、シャッターボタンを再度押してください。
＊録音中は、画像右上に経過経間が表示されます。
＊音声の再生方法はｐ７３をご覧ください。
＊ボイスメモ機能を使用して音声録音すると、残り撮影可能枚数は少なくなります。

アフレコ機能を使う

●撮影済みの静止画像に音声を追加（アフレコ）することができます。
また、録音済みの音声を消去したり書き換えることもできます。
●録音時間は１画像に付き最長約３０秒間です。

1
１.「アフレコ」を選択し、▶ボタンを押します。

2
２. 撮影済みの画像が再生されます。◀または▶ボタンを押して、音声を付けたい静止画像を選択します。
＊ マークが表示されているムービー画像には録音できません。
＊ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、設定を無効にして１の画面に戻ります。

3
３. シャッターボタンを押すと録音を開始します。
カメラ本体上面のマイクに向かって音声を録音してください。
＊残り時間がなくなると自動的に録音が終了します。途中で止めたい場合は、シャッターボタンを再度押してください。
＊録音中は、画像右上に経過経間が表示されます。

●録音済みの音声を消去する

1．ｐ５９－２の画面のとき、音声を消去させたい画像を選択し、ＤＥＬボタンを押します。

＊音声録音されている画像には🎙マークが点灯します。

2．選択した画像の音声のみを消去する場合は「１コマ」を、音声録音されている画像の音声全てを一度に消去する場合は「全コマ」を、◀または▶ボタンで選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊消去を実行しない場合は、「キャンセル」を選択するか再度ＤＥＬボタンを押します。

3．「消去中です」表示が消灯すると消去が完了し、ＲＥＣメニュー画面に戻ります。

＊録音し直す場合は、ｐ６０－１～２の操作で録音した音声を一度消去し、ｐ５９－１～３の操作で改めて録音してください。

＊プロテクトされている画像や、カードや内蔵メモリに残量がない場合は録音できません。また、カードや内蔵メモリの残り容量が少ない場合、録音できないことがあります。

＊アフレコ機能を使用して音声録音すると、残り撮影可能枚数は少なくなります。

スローシャッターの速度を変更する

●フラッシュモードに応じてスローシャッターの速度を変更することができます。
●暗い場所での撮影はシャッター速度が遅くなりますから、手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

１.「スローシャッター」を選択し、▶ボタンを押します。

２.▶ボタンを押して「ＯＮ」を選択します。

３.▲または▼ボタンを押してフラッシュモードを選択し、◀または▶ボタンを押してシャッター速度を設定します。
ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと設定が完了し、1の画面に戻ります。

＊通常のシャッター速度(初期設定)に戻すときは、設定を「ＯＦＦ」にしてください。「ＯＦＦ」設定時のスローシャッター速度は、フラッシュモードがＡＵＴＯと⚡ＯＮのときでは1／６０秒、⊛ＯＦＦと ポートレート夜景撮影のときでは1／８秒となります。

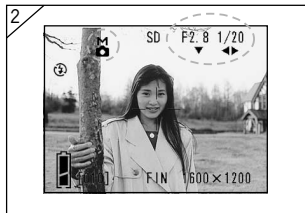
マニュアル露出モードで撮影する

●シャッター速度と絞り値を撮影状況や目的に合わせて設定することができます。

●シャッター速度は15秒〜1/1000秒の範囲で設定が可能です。また、絞り値はズーム倍率によって変化しますが、倍率毎に2段階の切換えが可能です。

1

1．「マニュアル露出ON」を選択し、▶ボタンを押します。

2

2．スルー画像となり、Mマークと絞り値、シャッター速度がブルーで表示され、設定可能な状態となります。
▼ボタンで絞り値を、◀▶ボタンでシャッター速度を設定します。▲ボタンを押すと設定が有効になります。

＊遅いシャッター速度に設定したときは手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

＊マニュアル露出モード設定時は、▲ボタンを押す毎に▼、◀、▶ボタンの機能が切替ります。
絞り値とシャッター速度がブルー表示のときはマニュアル露出の設定が可能な状態ですが、▲ボタンを押すと▼、◀、▶ボタンの機能は切替り、「フラッシュモード(▶)」(ｐ３８)、「撮影モード(◀)」(ｐ３９)、「ホワイトバランス(▼)」（ｐ１０７）の各モードの設定が可能となります。

＊マニュアル露出モード設定時は、液晶モニター上にM マークと絞り値、シャッター速度が常に表示されます。
また、シャッターボタンを半押しすると露出値(輝度との露出差)が表示されます（±2.0 の範囲を 0.3EV ステップで表示)。
周囲の輝度が変化した場合でも、シャッターボタンを半押しすることによってその都度露出値を確認することができます。

＊マニュアル露出モードの場合、1/2 秒よりも遅いシャッター速度に設定すると、ノイズリダクション機能が働きますので処理時間が長くなります。

＊マニュアル露出モードに設定されている場合、一部の機能が制限されます。
・ＲＥＣ メニューの「露出補正」モード（ｐ５０）は設定できません。
・ISO 感度の設定（ｐ６４）が「AUTO」の場合、“ISO50” に固定されます。
・フラッシュAUTO 撮影、ポートレート夜景撮影のモードは選択できません。
・赤目軽減モードのフラッシュ発光時のシャッター速度は、設定されたシャッター速度になります。

＊マニュアル露出モードでフラッシュ撮影した場合、状況によっては適正発光量とならないことがあります。その場合、画質設定（ｐ６４）のフラッシュ光量モードをご使用ください。

＊オート撮影に戻すときは、MENU/SET ボタンを押して「マニュアル露出 OFF」を選択し、▶ ボタンを押します。通常のスルー画像に戻ります。
オート撮影時のシャッター速度はスローシャッターの設定値から1/2000 秒です。また、絞り値は広角側で F2.8 ／ F4.7 、望遠側で F4.9 ／ F8.3 の切換えとなります。

＊ムービー撮影ではマニュアル露出の設定は反映されません。

画質の設定を行う

●撮影感度やフラッシュの発光量、画像のコントラストや色合いなどお好みに合せた画質に設定することができます。
● 2 通りの画質設定が可能です。

1.「画質設定」を選択し、▶ボタンを押します。

2.「設定」の中から、▶ボタンを押して「１」（または２）を選択します。

＊「１」の他に「２」への設定も可能です（異なる２つの設定が可能）。

3.▼または▲ボタンでモードを選択し、◀または▶ボタンで設定値を選択します。
MENU/SETボタンを押すと設定が完了し、スルー画像に戻ります。

＊通常の設定（初期設定）で撮影したいときは「ＯＦＦ」を選択してMENU/SETボタンを押します。設定した画質で撮影するときは、「１」または「２」を選択してください。

※設定できるモード

【ISO】

撮影感度の切替えができます。

・ＡＵＴＯ；通常の感度は ISO100 相当ですが、被写体の条件に合わせて自動的に感度が切替わります。一般撮影に適しています。

・50/100/200/400；高い感度は、動きの早い被写体や暗い場所での撮影などに適しています。但し、感度を高く設定するほど画像にノイズが増えます。
低い感度は、明るい場所での撮影や遅めのシャッター速度を使用したいときなどに適しています。

【フラッシュ光量】

フラッシュの発光量を増減できます。
近い被写体を撮影するなど光量を減らしたいときは－側、被写体の背景が遠いなど光量を多くしたいときは＋側に設定します。
光量は撮影条件（焦点距離、絞り値、撮影距離、感度等）により、ハードウェアで制限されることがあります。

【彩度】

画像の色の鮮やかさを調整できます。
＋側に設定すると鮮やかさが強くなり、－側にすると鮮やかさは低くなります。

【コントラスト】

画像のコントラスト（明暗の差）を調整できます。
＋側に設定すると明暗差が大きくメリハリのある画像になり、－側にすると明暗差が小さく比較的柔らかい感じの画像になります。

【シャープネス】

画像の鮮彩度（輪郭の度合い）を調整できます。
＋側に設定すると画像の輪郭がシャープになり、－側にすると画像の輪郭がソフトな感じになります。

【色合い】

画像の色合いを調整（特定の色を強調）できます。
色合い（赤）（緑）（青）は相対値として設定されます。0，0，0，も -2，-2，-2 も同じ値とされます。例えば、最も赤を強調したい場合は +2（赤），0（緑）,0（青）ではなく、+2（赤）,-2（緑）,-2（青）と設定します。

＊セピア撮影では、彩度、シャープネス、色合いの設定は反映されません。
＊白黒撮影では、色合いの設定は反映されません。
＊ムービー撮影では、色合いの設定のみが反映されます。

セットアップメニューを選択する

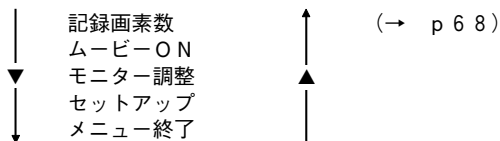
●セットアップメニューの各項目を変更することにより、自分に合った使いやすい設定でカメラを使用することができます。

1．「セットアップ」を選択し、▶ボタンを押します。

2．セットアップメニューモード画面に入ります。
セットアップメニュー設定の詳細は、ｐ９８をご覧ください。

＊2の画面のときにDISPLAYボタンを押すと現在のカメラのバージョン情報が表示されます。

ＲＥＣ（基本）メニューを使った設定

●「REC (基本)メニュー」モードに設定することで簡潔なメニュー設定が可能となります。モード設定の方法はｐ１００をご覧ください。
●ＲＥＣメニュー画面への入り方およびメニューの選択方法は、「ＲＥＣ（応用）メニューを使った設定」（ｐ４４）と同様です。
●「ＲＥＣ（基本）メニュー」モードでは、▼または▲ボタンを押す毎に メニューは次のように切替わります。

＊ＲＥＣメニュー画面のときに、◀ボタンを押すか、または「メニュー終了」を選択してからＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンまたは▶ボタンを押すとＲＥＣメニューモードは終了し、スルー画像（撮影可能な状態）に戻ります。

＊メニューの設定途中でもシャッターボタンを半押しするとスルー画像(撮影可能な状態）に戻ります。

＊次のメニューに関しては、「ＲＥＣ（応用）メニューを使った設定」で説明した内容と同様です（以降のページでの説明は省略いたします)。

・ムービーＯＮ　　（→　ｐ４９参照)
・モニター調整　　（→　ｐ５７参照)
・セットアップ　　（→　ｐ６６参照)

注意：REC メニューを“応用”から“基本”に変更した場合、次のモードは初期設定化されます。
・記録画素数、露出補正、ホワイトバランス、測光方式、モノクローム、デジタルズーム、マニュアル露出
また、スローシャッターおよび画質設定の設定内容は無効となります。

画像サイズを選択する

●４種類の画像サイズが選択できます。
●同じカード上で、各画像毎に異なる画像サイズを設定することができます。画像サイズを切替えるたびに、撮影可能な枚数も変更されます。撮影可能枚数は液晶モニターに表示されます。

１．「記録画素数」を選択し、▶ボタンを押します。

２．▼または▲ボタンを押して希望の画像サイズを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、１の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして１の画面に戻ります。

●各画像サイズの撮影可能枚数の目安（音声・動画なし）

画像サイズ	ＳＤメモリーカード ６４ＭＢ使用時	内蔵メモリ
2592 × 1944	約５１枚	―
2048 × 1536	約８５枚	―
1600 × 1200	約１６０枚	―
640 × 480	約６４０枚	約２０枚

＊撮影する被写体によって撮影可能枚数が増減することがあります。
＊画像以外のファイルがあるとき、画像サイズや撮影モードを切替えながら撮影した場合は、撮影可能枚数はこの表の限りではありません。表の数値は目安としてください。
＊各画像サイズと、２種類の圧縮率を組み合わせることもできます（ｐ４６）。

再生する

撮影した画像を再生する

●撮影した画像を液晶モニターに再生することができます。
●画像再生の際、カメラの電源はＯＮ／ＯＦＦどちらの状態であっても構いません。
●電池の消耗に備えて、充電された予備の電池（別売、ＤＲ－ＬＢ４）のご準備、もしくはＡＣアダプター（別売、型番：ＤＲ－ＡＣ４）のご使用をおすすめします。

1

1．ＰＬＡＹボタンを押すと、液晶モニターには、最後に撮影した画像が再生されます。
カメラの電源がOFFのとき（レンズカバーが閉じているとき）は2秒以上押し続けることで画像が再生されます。

＊撮影された画像データがない場合は、「データがありません」と表示されます。

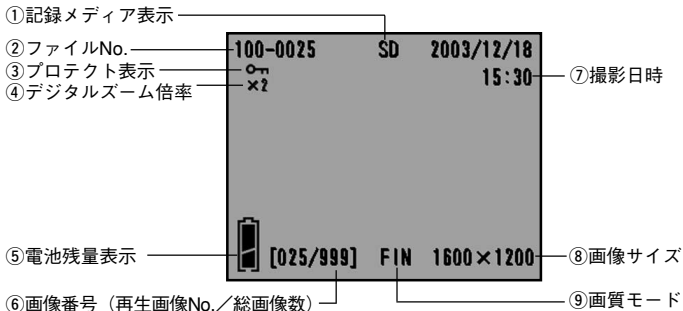
2．◀または▶ボタンを押す毎に、前の画像または次の画像が再生されます。

＊ズームボタンのW側を押すとインデックス再生されます。
再生後の操作は、ｐ７８の２～３をご覧ください。

＊電源ＯＮの状態で、通常の画像サイズで再生されているときにシャッターボタンを半押しするとスルー画像になり、撮影可能な状態に戻ります。

＊再生が終わったら、電池の消耗を防ぐために再度ＰＬＡＹボタンを押して、液晶モニターを消灯させてください。
また、撮影しない場合はレンズカバーを閉じて電源をＯＦＦにしておいてください。

●再生画像表示

液晶モニターには画像の他に、次のような情報が表示されます。
＊情報を表示させない設定も可能です（ｐ１０１）。

①記録メディア表示
使用メディアの種類を表示します。
・ＳＤメモリーカードまたは
　マルチメディアカード　：ＳＤ
・メモリースティック　　：ＭＳ
・内蔵メモリ　　　　　　：ＩＮ
注）マルチメディアカードを使用の場合でも、種類は「ＳＤ」と表示されます。

②ファイルNo.
カード内に記録されている「ディレクトリ番号」と「ファイル番号」を表示します。

③プロテクト表示
画像がプロテクトされている場合に表示されます。

④デジタルズーム倍率
画像を拡大して再生（デジタルズーム）した時の倍率を表示します。

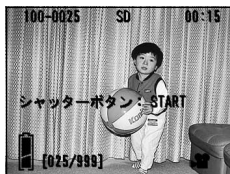
⑤電池残量表示
電池を使用している場合に電池残量を２段階（ｐ１９）で表示します。

⑥画像番号
このカメラで再生できる最大コマ数は９９９枚です。カード内に９９９枚を超える画像ファイルがある場合は、再生が実行されないことがあります。

⑦撮影日時
１）通常は、撮影したときの日時を表示します。
２）ムービー画像または音声付の静止画像を再生中は、再生時間を表示します。

⑧画像サイズ
1)　画像サイズを表示します。
2)　ムービー画像では、マークが表示されます。
3)　静止画像が音声付きの場合は、画像サイズの上部に マークが表示されます。

⑨ 画質モード
撮影したときの画質モードを表示します。(ムービー画像では表示されません。)

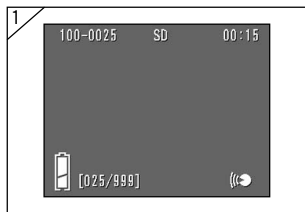
ムービー（動画）を再生する

1．ＰＬＡＹボタンを押した後、◀または▶ボタンを押して見たいムービー画像を選択します。

＊ムービー画像には、マークが表示されます。

2．シャッターボタンを押すとムービー画像が再生されます。再生が終わると、1の画像に戻ります。

＊ムービー再生中の画面表示は、記録メディア表示・ファイルNo.・画像番号表示・再生（経過）時間のみとなります。
＊再生を途中で止めたい場合は、シャッターボタンを再度押してください。

ボイスメモを再生する

●ボイスメモ録音（ｐ５８）した内容を再生します。

1．ＰＬＡＹボタンを押した後、◀または▶ボタンを押してボイスメモ画像を選択します。

＊画面右上には、録音時間が表示されます。

2．シャッターボタンを押すと音声が再生されます。再生が終わると、１の画面に戻ります。

＊画面右上には再生（経過）時間が表示されます。

アフレコ画像の音声を再生する

●アフレコ（ｐ５９）した画像の音声を再生します。

1．ＰＬＡＹボタンを押した後、◀または▶ボタンを押してアフレコ画像を選択します。

＊アフレコ画像を再生すると画面表示は１のようになります。画面右上には、録音時間が表示されます。

2．シャッターボタンを押すと音声が再生されます。再生が終わると、１の画面に戻ります。

＊画面右上には再生（経過）時間が表示されます。

●ボイスメモおよびアフレコ画像の音声再生について

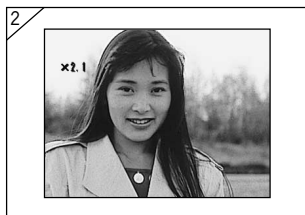
＊カメラ本体背面のスピーカー（ｐ１５参照）をふさがないでください。
＊再生を途中で止めたい場合は、シャッターボタンを再度押してください。

画像を拡大して再生する（デジタルズーム）

●再生画像を拡大表示することができます。

1．ＰＬＡＹボタンを押した後、◀または▶ボタンを押して見たい画像を選択します。
ズームボタンのＴ側を押すと画像がズームインされ、Ｔボタンを押す毎にズーム倍率が上がります。

＊液晶モニターには、ズーム倍率が表示されます。

＊ズームアウトするには、ズームボタンのW側を押していきます。また、シャッターボタンを半押しすると通常の画像サイズに戻ります。

2．◀、▶、▲、▼ボタンを押すと画像がスクロールしますので、見たい部分を表示させてください。

＊再生が終わったら、電池の消耗を防ぐために再度ＰＬＡＹボタンを押して、液晶モニターを消灯させてください。

クイックビュー機能を使う

●予め「クイックビュー」モード（ｐ１００）に設定しておくと、撮影した画像をすぐに液晶モニターで再生確認することができます。

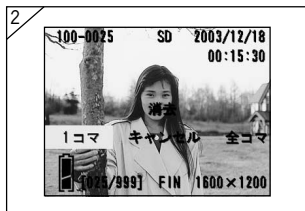
●ファインダーを使って撮影し、液晶モニターが消灯している場合：
画像は表示後に自動的に消灯します。

●液晶モニターを使って撮影した場合：
1）撮影が終わると、撮影した画像を液晶モニターに再生します。
2）約3秒後にスルー画像に戻ります。

再生した画像を消去する

●再生した画像（１コマまたは全コマ）を消去することができます。
●プロテクトされている画像は消去できません。
●消去した画像は元に戻せません。

１．ＰＬＡＹボタンを押した後、◀または▶ボタンを押して、消去したい画像を選択します。

＊全コマを消去する場合は、どの画像が表示されていても構いません。

２．ＤＥＬボタンを押すと、消去対象メディアの種類とコマ選択画面が表示されます。◀または▶ボタンを押して「１コマ」(選択されている画像）または「全コマ」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊消去をやめる場合は、「キャンセル」を選択するか再度ＤＥＬボタンを押してください。１の画像に戻ります。

３．消去が開始され、「消去中です」画面が表示されます。消去が完了すると再生画像に戻ります。

＊撮影された画像データがない場合は、「データがありません」と表示されます。
＊消去した画像は元に戻せません。

ＰＬＡＹメニューを使う

●ＰＬＡＹメニューを使うことにより、様々な再生や不要な画像の消去など、画像の編集ができます。
●カメラの電源はＯＮ／ＯＦＦどちらの状態であっても構いません。

1．ＰＬＡＹボタンを押した後、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、ＰＬＡＹメニュー画面が表示されます。

2．▼または▲ボタンを押して設定するメニューを選択します。ボタンを押す毎にメニューモードは次のように切替わります。

インデックス（→　ｐ７８）
コピー（→　ｐ７９）
消去（→　ｐ８２）
モニター調整（→　ｐ８５）
プリント指定（ＤＰＯＦ）（→　ｐ８６）
リサイズ（→　ｐ９０）
プロテクト（→　ｐ９１）
移動（→　ｐ９４）
スライドショー（→　ｐ９７）
アフレコ（→　ｐ９７）
セットアップ（→　ｐ９７）
メニュー終了

3．メニュー選択後、▶ボタンを押すと、ＲＥＣメニュー（ｐ４４）と同様に、選択したメニューの設定画面が表示されます。▼または▲ボタンを押して希望の内容を選択後、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと設定が完了し、１の画面に戻ります。

4．１の画面（ＰＬＡＹメニュー画面）のときに、◀ボタンを押すかまたは「メニュー終了」を選択してＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、ＰＬＡＹメニューモードは終了し、再生画像に戻ります。ＰＬＡＹボタンを押して液晶を消灯させてください。

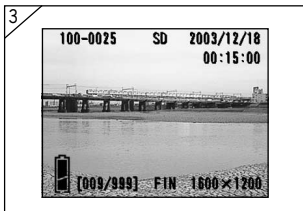
＊各メニューの詳細設定については、以降のページをご覧ください。
＊メニューの設定途中でもシャッターボタンを半押しすると再生画像に戻ります。

複数の画像を一度に見る（インデックス再生）

●液晶モニターに、同時に９コマまでの画像を表示できます。表示したい画像に素早くアクセスすることができます。また、不要な画像を消去することもできます。

１.「インデックス」を選択し、▶ボタンを押します。

２. ９コマの画像が同時に表示されます。メニューに入ったときの画像が赤枠で囲まれています。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、表示したい（または消去したい）画像を囲んで選択してください。

＊先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと９枚とも次の画像に入れ替わります。

３. ズームボタンのＴ側またはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと選択した画像が標準の大きさで表示されます。

※選択した画像を消去したい場合は、ＤＥＬボタンを押します。ＤＥＬボタンを押した後の操作はｐ７６－２～３と同様です。

＊メディア内の画像を全コマ消去する場合は、どの画像が表示されていても構いません。

画像をコピーする

●撮影した静止画像やムービー画像を別のメディアにコピーすることができます（1コマおよび複数コマ、または全コマを選択可能）。

1
1．「コピー」を選択し、▶ボタンを押します。

2
2．各設定項目の画面が表示されます。
最初に「コピー元」が選択されていますので、▶ボタンを押します。

＊他の項目を選択する場合は、▼または▲ボタンを押して選択します。

3
3．メディアの種類が表示されます。▼または▲ボタンを押して、コピーしたい画像が入っているメディアを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、2の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして2の画面に戻ります。
＊選択したメディアに画像やカードが入っていない場合は、3の画面に戻ります。

4．２の画面で「コピー先」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、コピー先のメディアを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、２の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして２の画面に戻ります。

＊選択したメディアが容量不足などの場合は、エラーメッセージが表示された後、４の画面に戻ります。

5．２の画面で「単位」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、「選択コマ」（１コマまたは複数コマを選択の場合）、または「全コマ」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、２の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして２の画面に戻ります。

6．全ての選択が完了したら、「実行」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊５の画面で「選択コマ」を選択した場合は７へ、「全コマ」を選択した場合は９へ進んでください。

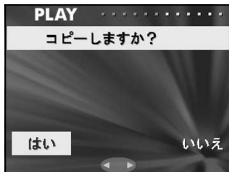
＊◀ボタンを押すと、設定を無効にしてｐ７９－１の画面に戻ります。

7．８コマの画像が表示されます。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、コピーする画像を赤枠で囲んで選択しＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと８枚とも次の画像に入れ替わります。

8．７で選択した画像は黄枠で囲まれます。選択を終了させる場合は、◀、▶、▲、▼ボタンで「終了」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します（→９へ進む）。

他の画像も選択する場合は、再度選択操作を行います（→７へ戻る）。

＊複数コマ選択する場合は７と８の操作を繰り返します。

9．確認画面が表示されます。実行する場合は、◀または▶ボタンを押して「はい」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊「いいえ」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、コピーを実行せずに１の画面に戻ります。

10．コピーが開始され、「コピー中です」画面が表示されます。コピーが完了すると１の画面に戻ります。

不要な画像を消去する

●不要な静止画像やムービー画像などを消去することができます（1コマおよび複数コマ、または全コマを選択可能）。
●消去した画像は元に戻せません。
●プロテクトされている画像は、プロテクトを解除しないと消去できません。

1．「消去」を選択し、▶ボタンを押します。

2．各設定項目の画面が表示されます。最初に「メディア」が選択されていますので、▶ボタンを押します。

＊他の項目を選択する場合は、▼または▲ボタンを押して選択します。

3．▼または▲ボタンを押して、消去したい画像が入っているメディアを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、2の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして2の画面に戻ります。

＊選択したメディアに画像やカードが入っていない場合は、3の画面に戻ります。

4． 2の画面で「単位」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、「選択コマ」（1コマまたは複数コマを選択の場合）、または「全コマ」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、2の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして2の画面に戻ります。

5． 全ての設定が完了したら、「実行」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊4の画面で「選択コマ」を選択した場合は6へ、「全コマ」を選択した場合はｐ８４-8へ進んでください。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

6． 8コマの画像が表示されます。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、消去する画像を赤枠で囲んで選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと8枚とも次の画像に入れ替わります。

7．ｐ８３－６で選択した画像が黄枠で囲まれます。選択を終了させる場合は、◀、▶、▲、▼ボタンで「終了」を選択しＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します（→８へ進む）。

他の画像も選択する場合は、再度選択操作を行います（→６へ戻る）。

＊複数コマ選択する場合は６と７の操作を繰り返します。

8．確認画面が表示されます。実行する場合は、◀または▶ボタンを押して「はい」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊「いいえ」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、消去を実行せずに１の画面に戻ります。

9．「消去中です」画面が表示されます。消去が完了すると１の画面面に戻ります。

液晶モニターの明るさと色合いを調整する

●再生場所の明るさに合わせて、液晶モニターの明るさを調整できます。また、液晶モニターの色合い（赤、緑、青）を調整することができます。
●設定した明るさと色合いは、電源のＯＮ／ＯＦＦに関わらず、設定を変えるまで保持されます。

１．「モニター調整」を選択し、▶ボタンを押します。

２．再生画像となり、モニター調整画面が表示されます。
選択できるモードおよび調整方法は、ｐ５７－２と同様です。
お好みの明るさと色合いに調整した後ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、1の画面に戻ります。

プリントする画像を選ぶ（ＤＰＯＦ）／解除する

●ＤＰＯＦ（ディーポフ）とは、Digital Print Order Formatの略称で、デジタルカメラで撮影した画像をＤＰＯＦ対応のデジタルプリンタやラボプリントサービスでプリントするための情報をカードなどに記録するときの形式です。
●撮影した静止画像の中から、プリントしたいコマの指定（１コマおよび複数コマ、または全コマ）ができます。また、設定の解除も可能です。なお、ムービー画像はプリントできません。
●撮影した画像をプリントする際にデート(撮影した日時)を写し込むことができます。（デートなしも選択可能です。）

１．「プリント指定(ＤＰＯＦ)」を選択し、▶ボタンを押します。

２．各設定項目の画面が表示されます。最初に「メディア」が選択されていますので、▶ボタンを押します。

＊他の項目を選択する場合は、▼または▲ボタンを押して選択します。

３．▼または▲ボタンを押して、プリント（または設定解除）したい画像が入っているメディアを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。
設定が完了し、２の画面に戻ります。

＊ ◀ボタンを押すと、設定を無効にして２の画面に戻ります。
＊選択したメディアに画像やカードが入っていない場合は、３の画面に戻ります。

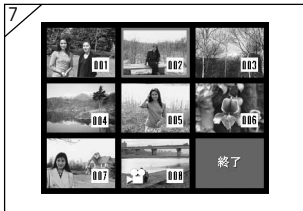
4．２の画面で「単位」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、１コマまたは複数コマをプリント（または設定解除）する場合は「選択コマ」を、全コマをプリントする場合は「全コマＯＮ」を選択します。
また、プリント設定を全て解除させる場合は 「全コマＯＦＦ」を選択します。選択後、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、２の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして２の画面に戻ります。

5．２の画面で「デート」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、デートをプリントする場合は「全コマＯＮ」を、デートをプリントしない場合は「全コマＯＦＦ」を選択します。選択後、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、２の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして２の画面に戻ります。

6．全ての設定が完了したら、「実行」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊「単位」の設定で「選択コマ」を選択した場合は７へ、「全コマＯＮ」または「全コマＯＦＦ」を選択した場合はｐ８９ー９へ進んでください。

7．8コマの画像が表示されます。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、プリント（または設定解除）する画像を赤枠で囲んで選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと8枚とも次の画像に入れ替わります。

8．７で選択した画像は黄枠で囲まれます。ズームボタン（Ｔ，Ｗ）を押してプリント枚数を指定します。画像左上に枚数が表示されます。

選択を終了させる場合は、◀、▶、▲、▼ボタンで「終了」を選択しＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します（→9へ進む）。

他の画像も選択する場合は、再度選択操作を行います（→7へ戻る）。

＊複数コマ選択する場合は7と8の操作を繰り返します。

＊指定できるプリント枚数は１～９９９枚までです。

９．確認画面が表示されます。

※**「選択コマ」を選択の場合：**◀または▶ボタンを押して「はい」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

※**「全コマＯＮ」を選択している場合：**▲、▼ボタンまたはズームボタン（Ｔ、Ｗ）を押してプリント枚数を指定します。次に、◀または▶ボタンを押して「はい」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊指定できる枚数は、１～９９９枚までです。

＊「いいえ」を選択してＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、設定を無効にして１の画面に戻ります。

※**「全コマＯＦＦ」を選択している場合：**「はい」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊「いいえ」を選択してＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、設定解除を実行せずに１の画面に戻ります。

１０.「プリント指定中です」画面が表示されます。設定（または解除）が完了すると１の画面に戻ります。

＊従来の写真と同様にデジタルカメラの画像も一部店舗を除きプリント取扱店でプリントできます。詳しくはプリント取扱店にご相談ください。

画像サイズを小さくする（リサイズ）

●撮影した画像サイズを小さくさせることができます。リサイズさせると、データ容量が小さくなったファイルが新しく作成されます。
●Ｅメールに画像を添付するなど小さな画像が必要なときに便利です。
●ムービー画像はリサイズできません。

1．「リサイズ」を選択し、▶ボタンを押します。

2．▼または▲ボタンを押して、サイズを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

※ＶＧＡは、640×480Pixelで、ＱＶＧＡは、320×240Pixelで記録されます。

3．撮影画像が再生されますので、◀または▶ボタンを押してリサイズさせたい画像を選択します。ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すとリサイズした画像が新しく記録され、1の画面に戻ります。

＊リサイズを実行しない場合は、▼または▲ボタンで「戻る」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。
＊容量不足で保存できない場合は、「メモリがいっぱいです」と表示されます。

大事な画像をプロテクトする／解除する

●撮影した大事な静止画や動画を誤って消去しないように、画像をプロテクトすることができます（複数コマまたは全コマ単位での選択可能）。また、解除も可能です。
●カードをフォーマット（ｐ９９）すると、プロテクトされた画像でも消去されてしまいます。

1．「プロテクト」を選択し、▶ボタンを押します。

2．各設定項目の画面が表示されます。最初に「メディア」が選択されていますので、▶ボタンを押します。

＊他の項目を選択する場合は、▼または▲ボタンを押して選択します。

3．▼または▲ボタンを押して、プロテクト（または解除）したい画像が入っているメディアを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、2の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして2の画面に戻ります。
＊選択したメディアに画像やカードが入っていない場合は、3の画面に戻ります。

4． 2の画面で「単位」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、1コマまは複数コマをプロテクト（または解除）する場合は「選択コマ」を、全コマをプロテクトする場合は「全コマＯＮ」を選択します。
また、プロテクト設定を全て解除させる場合は「全コマＯＦＦ」を選択します。選択後、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、2の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして2の画面に戻ります。

5． 全ての設定が完了したら、「実行」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊「単位」の設定で「選択コマ」を選択した場合は6へ、「全コマＯＮ」または「全コマＯＦＦ」を選択した場合は8へ進んでください。

6． 8コマの画像が表示されます。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、プロテクト（または解除）する画像を赤枠で囲んで選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと8枚とも次の画像に入れ替わります。

7． 6で選択した画像は黄枠で囲まれます。選択を終了させる場合は、◀、▶、▲、▼ボタンで「終了」を選択しＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します（→８へ進む）。

他の画像も選択する場合は、再度選択操作を行います（→6へ戻る）。

＊複数コマ選択する場合は6と7の操作を繰り返します。

8． 確認画面が表示され、「はい」が選択されています。

※**「選択コマ」「全コマＯＮ」を選択している場合：**「はい」のままＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊◀または▶ボタンを押して「いいえ」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

※**「全コマＯＦＦ」を選択している場合：**◀または▶ボタンを押して「はい」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊「いいえ」を選択してＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、設定解除を実行せずに1の画面に戻ります。

9．「実行中です」画面が表示されます。設定（または解除）が完了すると1の画面に戻ります。

画像を移動させる

●撮影した静止画像やムービー画像を別のメディアに移動させることができます。
●プロテクトされている画像は、プロテクトを解除しないと移動はできません。

1．「移動」を選択し、▶ボタンを押します。

2．各設定項目の画面が表示されます。最初に「移動元」が選択されていますので、▶ボタンを押します。

＊他の項目を選択する場合は、▼または▲ボタンを押して選択します。

3．▼または▲ボタンを押して、移動したい画像が入っているメディアを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、２の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして２の画面に戻ります。

＊選択したメディアに画像やカードが入っていない場合は、3の画面に戻ります。

4． 2の画面で「移動先」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、移動先のメディアを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして2の画面に戻ります。

＊選択したメディアが容量不足で保存できない場合やカードが入っていない場合は、4の画面に戻ります。

5． 2の画面で「単位」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、「選択コマ」（1コマまたは複数コマを選択の場合）、または「全コマ」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、2の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして2の画面に戻ります。

6． 全ての設定が完了したら、「実行」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊5の画面で「選択コマ」を選択した場合は7へ、「全コマ」を選択した場合は9へ進んでください。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

7． 8コマの画像が表示されます。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、移動させる画像を赤枠で囲んで選択しＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと8枚とも次の画像に入れ替わります。

8． 7で選択した画像は黄枠で囲まれます。選択を終了させる場合は、◀、▶、▲、▼ボタンで「終了」を選択しＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します（→9へ進む）。
他の画像も選択する場合は、再度選択操作を行います（→7へ戻る）。

＊複数コマ選択する場合は7と8の操作を繰り返します。

9． 確認画面が表示されます。実行する場合は、◀または▶ボタンを押して「はい」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊「いいえ」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、移動を実行せずに1の画面に戻ります。

10.「移動中です」画面が表示されます。移動が完了すると1の画面に戻ります。

スライドショー再生を行なう

●撮影した画像を１コマ目から一定時間で順次再生していきます。

1.「スライドショー」を選択し、▶ボタンを押します。

2. １コマ目から約2秒間隔で順次画像が再生表示されます。再生が終了すると、最終コマで表示が終わります。

※途中で再生を止めたい場合は、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。終了した時点の画像が表示されます。

アフレコ機能を使う

1.「アフレコ」を選択し、▶ボタンを押します。

設定方法および機能の詳細は、ｐ５９～ｐ６０と同様です。

セットアップメニューを選択する

1.「セットアップ」を選択し、▶ボタンを押します。

2. セットアップメニューモード画面に入ります。
セットアップメニュー設定の詳細は、ｐ９８をご覧ください。

セットアップメニューを使う

●セットアップメニューの各項目を変更することにより、自分に合った使いやすい設定でカメラを使用することができます。
●各設定は、メイン電源のＯＮ／ＯＦＦに関わらず、設定を変えるまで保持されます。

1．ＲＥＣメニュー（ｐ６６）、またはＰＬＡＹメニュー（ｐ９７）の画面から「セットアップ」を選択すると、セットアップメニュー画面が表示されます。

2．▼または▲ボタンを押して、設定するメニューを選択します。ボタンを押す毎にメニューモードは次のように切替わります。

▼	メニュー	▲	参照
	フォーマット		（→ ｐ９９）
	ＲＥＣメニュー		（→ ｐ１００）
	クイックビュー		（→ ｐ１００）
	情報表示		（→ ｐ１０１）
	サウンド		（→ ｐ１０２）
	日時設定		（→ ｐ１０３）
	セルフタイマー		（→ ｐ１０３）
	オートパワーオフ		（→ ｐ１０４）
	ナンバーリセット		（→ ｐ１０４）
	優先メモリー		（→ ｐ１０５）
	言語		（→ ｐ１０５）
	アフレコ設定		（→ ｐ１０６）
	カスタム		（→ ｐ１０７）
	初期設定		（→ ｐ１１０）
	メニュー終了		

※セットアップメニュー画面のときに、◀ボタンを押すか、「メニュー終了」を選択してＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すとセットアップメニューモードが終了します。

＊セットアップメニューモードを終了させると、液晶モニターの表示は、次のようになります。

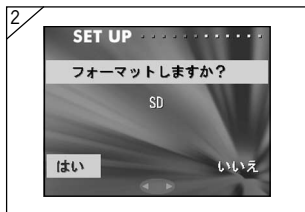
1）ＲＥＣメニューからセットアップメニューに入ったときは、ＲＥＣメニュー画面に戻ります。
2）ＰＬＡＹメニューからセットアップメニューに入ったときは、ＰＬＡＹメニュー画面に戻ります。

＊メニューの設定中でもシャッターボタンを半押しすると、スルー画像（撮影可能な状態）もしくは再生画像表示の状態に戻ります。
＊各メニューの詳細設定は以降のページをご覧ください。

カードをフォーマットする

●カードをフォーマットすると購入時の状態に戻ります。
●フォーマットすると、プロテクト（ｐ９１）された画像があっても全て消去されてしまいます。ご注意ください。
●カードのフォーマットは必ずカメラ本体で行なってください。パソコンでフォーマットした場合、カードが正常に使用できなくなることがあります。

1．「フォーマット」を選択して▶ボタンを押すと、メディア選択画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して、フォーマットするメディアの種類を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

2．確認画面が表示されます。実行する場合は、◀または▶ボタンを押して「はい」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

＊実行しない場合は、「いいえ」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。

3．フォーマットが開始され「カードフォーマット中です」画面が表示されます。フォーマットが完了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。

⃠フォーマット中は、電池／カード蓋を絶対に開けないでください。
カードが損傷する恐れがあります。

ＲＥＣメニューを設定する

●REC 応用メニュー（初期設定）の内容を、REC 基本メニューに変更することができます。
●この機能の詳細については、ｐ４４，６７をご覧ください。

１．「ＲＥＣメニュー」を選択して▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して「基本」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。
＊◀ボタンを押すと、設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

クイックビューを設定する

●撮影後すぐに画像を液晶モニターに表示させて、撮った画像をその場で確認したい場合は、このモードを設定しておきます。
●この機能の詳細については、ｐ７５をご覧ください。

１．「クイックビュー」を選択して▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して「ＯＮ」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。
＊◀ボタンを押すと、設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

画像情報を非表示にする

●撮影時または再生時に表示される画像情報（ｐ３６、ｐ７１）を、非表示にさせることができます。
●初期設定は「ＯＮ」（表示する）になっています。

１．「情報表示」を選択し▶ボタンを押します。
▼または▲ボタンを押して「ＯＦＦ」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

操作音を設定する

●ビープ音（各種操作時に鳴る音や警告音）、効果音またはシャッター音を止めたり鳴らしたりすることができます。
●初期設定は「ＯＮ」（鳴る設定）になっています。

1．「サウンド」を選択して▶ボタンを押すと、設定画面が表示され、「ビープ音」が選択されていますので、▶ボタンを押します。

2．▼または▲ボタンを押して、「ＯＮ」または「ＯＦＦ」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。1の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

3．1の画面で「効果音」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、「ＯＮ」または「ＯＦＦ」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。1の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

4．1の画面で「シャッター音」を選択して▶ボタンを押した後、▼または▲ボタンを押して、「ＯＮ」または「ＯＦＦ」を選択し、▶ボタンまたはMENU/SETボタンを押します。1の画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

日時を調整する

●電池を抜いた状態で約２４時間以上経つと、設定した日時は解除されます。この場合、再度設定を行ってください。

1.「日時設定」を選択して▶ボタンを押すと、日時設定画面が表示されます。

設定の方法は、ｐ２７－３～ｐ２８－６をご覧ください。

＊設定が完了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。

セルフタイマーの時間を設定する

●セルフタイマーの作動時間を１０秒(初期設定)から３秒に変更することができます。

●セルフタイマーモードは、１０秒の設定(初期設定)では撮影毎に解除され、３秒の設定では撮影後も設定が保持され、連続してセルフタイマー撮影が可能になります。

1.「セルフタイマー」を選択して▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して「３秒」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

オートパワーオフの時間を設定する

●オートパワーオフ機能（ｐ３７）が作動するまでの時間を3分（初期設定）から変更することができます。

1．「オートパワーオフ」を選択し▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して「１０分」または「ＯＦＦ」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

ファイルNo.をリセットする

●ファイルＮｏ．をリセットすることができます。

1．「ナンバーリセット」を選択し▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して「ＯＮ」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと、設定が完了します。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

参考：

＊初期設定は「ＯＦＦ」になっており、下記のような連続したファイル番号を付番します。

ＸＸＸＸＸ 1.jpg、　ＸＸＸＸＸ 2.jpg、　ＸＸＸＸＸ 3.jpg・・・

＊No.リセットを「ＯＮ」にすると、カード内に本機で撮影した画像がない場合は、ＸＸＸＸＸ1.jpgから付番します。本機で撮影した画像がある場合は、既に存在するファイル番号の次のNo.を付番します。

優先メモリーを選択する

●カメラ内に、ＳＤメモリーカード（またはマルチメディアカード）とメモリースティックカードの２枚を入れた場合、どちらのカードを優先して記録させるかを選択できます。

1．「優先メモリー」を選択し、▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して、優先させるカードの種類を選択し▶ ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

＊◀ボタンを押すと、設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

言語を変更する

1．「言語」を選択し、▶ボタンを押すと、言語設定画面が表示されます。
設定の方法は、ｐ２７をご覧ください。

＊設定が完了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。また、◀ボタンを押すと設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

静止画に音声をつけて撮影する

1．「アフレコ設定」を選択し、▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して希望の設定を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、セットアップメニューに戻ります。

*◀ ボタンを押すと、設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

※「選択時」設定の場合

通常モード（初期設定）です。ＲＥＣメニュー（ｐ５９）またはＰＬＡＹメニュー（ｐ９７）で「アフレコ」を選択設定した場合に、後から静止画像に音声を追加することができます。

※「常時」設定の場合

撮影毎に静止画像に音声を録音することができます。毎回、撮影が終わる毎にｐ５９－２と同様のアフレコ画面が表示されますので、シャッターボタンを押して音声を録音してください。録音時間は最大約３０秒間です。録音中は、画像右上に経過時間が表示されます。残り時間がなくなると自動的に録音が終了します。途中で止めたい場合には、シャッターボタンを再度押してください。

カスタム設定にする

1) 撮影時の◀、▶ボタンに割り当てられたフラッシュモード、撮影モード（ｐ３８～ｐ３９ 参照）の各選択項目のＯＮ ／ＯＦＦ を個別に設定することができます。設定後、撮影時に◀または▶ボタンを押すと ON に設定してあるモードのみ選択できます。
＊全てのモードをＯＦＦ に設定することはできません。全てをＯＦＦ に設定した場合、フラッシュモード、撮影モードともＡＵＴＯがＯＮ に設定されます。

2) ▲ボタンに露出補正設定を、▼ボタンにホワイトバランス切替えを割り当てることができます。

露出補正設定をＯＮ に設定する。

撮影時に▲ボタンを押すと露出補正調整バーが表示されます。◀、▶ボタンを押すことにより露出補正を行うことができます。再度▲ボタンを押すと設定が有効になります。露出補正はデフォルト値に対して±0.6EV を 0.3EV ステップで調整できます。±1.5EV の範囲をRECメニューの露出補正と組み合わせて使用することもできます。REC メニューの露出補正（ｐ５１）で＋0.9EV に補正している場合、＋0.3EV から＋1.5EV まで調整できます。

ホワイトバランス切替えを ON に設定する。

撮影時に▼ボタンを押すことでホワイトバランスを固定して撮影することができます。▼ボタンを押す毎にモードが切替わり、設定されたモードは液晶モニターに表示されます。表示されるアイコンとモードの関係はｐ５３をご覧ください。

3) ピント、露出を固定し撮影する機能を追加することができます。

AF 固定を ON に設定する。

フォーカスロック（ｐ３４）しながら（シャッターボタンを半押ししたまま）◀ボタンを押すと、液晶モニターにアイコンが表示され、AF が固定されます。撮影後もAF は固定されたままになり、ピントを固定したまま繰り返し撮影することが可能です。
＊ズームボタン、MENU/SET ボタン、◀ボタン、PLAY ボタンもしくは電源OFF でピントの固定は解除されます。

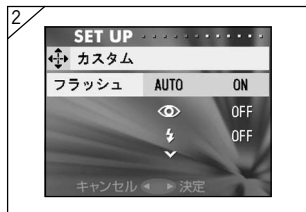
AE 固定を ON に設定する。

フォーカスロック（p 3 4）しながら（シャッターボタンを半押ししたまま）▲ ボタンを押すと、液晶モニターにアイコンが表示され、露出（AE）が固定されます。撮影後も露出（AE ）は固定されたままになり、露出を固定したまま繰り返し撮影することが可能です。

＊ズームボタン、MENU/SET ボタン、PLAY ボタン、電源OFF もしくはホワイトバランス切替えで露出の固定は解除されます。

4) 連写機能のＯＮ ／ＯＦＦ を設定できます。連写機能をＯＮ に設定するとシャッターボタンを押し続けることで連写することができます。

＊フラッシュ撮影時にはフラッシュの充電が完了してから次の撮影にうつります。

1．「カスタム」を選択し、▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して希望の設定を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ ／ＳＥＴ ボタンを押します。

2． 1の画面で「フラッシュ」を選択して▶ ボタンを押すとフラッシュモードの設定画面が表示されます。
▼または▲ボタンを押して希望のモードを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ ／ＳＥＴ ボタンを押して設定を変更します。
設定が完了したら ◀ ボタンを押し、1の画面に戻ります。

3．１の画面で「マクロ」を選択して▶ボタンを押すと撮影モードの設定画面が表示されます。▼または▲ボタンを押して希望のモードを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押して設定を変更します。設定が完了したら◀ボタンを押し、１の画面に戻ります。

4．１の画面で「AF AE AWB 」を選択して▶ボタンを押すと各項目の設定画面が表示されます。▼または▲ボタンを押して希望のモードを選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押して設定を変更します。設定が完了したら◀ボタンを押し、１の画面に戻ります。

5．１の画面で「連写」を選択して▶ボタンを押すと設定画面が表示されます。▼または▲ボタンを押して、「ON 」または「ＯＦＦ 」を選択し、▶ボタンまたはＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。1の画面に戻ります。

初期設定に戻す

●ＲＥＣメニューおよびセットアップメニューで行なった様々な設定を、一度に初期設定に戻すことができます。

1．「初期設定」を選択し、▶ボタンを押すと、確認画面が表示されます。◀または▶ボタンを押して「はい」を選択し、ＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押します。設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

＊「いいえ」を選択しＭＥＮＵ／ＳＥＴボタンを押すと設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

●カメラで撮影した画像は、付属のＵＳＢケーブルを使用して、パソコンに転送することができます。

動作環境

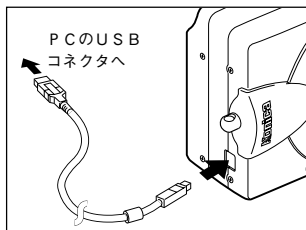
１．Ｗｉｎｄｏｗｓ

ＯＳ：Windows 98、Windows 98SE、Windows2000、Windows Me、Windows XP がインストール済み
メモリ：１６ＭＢ以上の使用可能なＲＡＭ（３２ＭＢ以上を推奨）
ディスプレイ：３２０００色以上、解像度６４０×４８０ pixel 以上の表示
その他：ＣＤ−ＲＯＭドライブ搭載､ＵＳＢポート標準装備

２．Ｍａｃｉｎｔｏｓｈ

ＯＳ：Mac OS 9.0／9.1／9.2／Mac OS X（バージョン 10.0.4-10.1）
ＣＰＵ：ＰｏｗｅｒＰＣ以上搭載
メモリ：１６ＭＢ以上の使用可能なＲＡＭ（３２ＭＢ以上を推奨）
ディスプレイ：３２０００色以上、解像度６４０×４８０ pixel 以上の表示
その他：ＣＤ−ＲＯＭドライブ搭載､ＵＳＢポート標準装備

ＵＳＢケーブルと接続する

●カメラの電源はＯＦＦにします。
●カメラへＵＳＢケーブルを接続したり外したりする際に、パソコンの電源を切る必要はありません。

1．パソコンの電源を入れ、Windowsあるいは Mac OSを起動します。

2．Windows または Mac OSの通常画面になったら、ＵＳＢケーブルでカメラとパソコンを接続します。

※ＵＳＢケーブルは、必ず付属のものをご使用ください。
※カメラをパソコンに接続しているときは、カメラの操作はできません。
※パソコンとの接続中は、ＵＳＢケーブルやＡＣアダプターを外したり、電池／カード蓋を開けたりしないでください。
※ＵＳＢケーブルの接続を外すときも、カメラの電源はＯＦＦにしてください
※パソコンとの通信時にはＡＣアダプター（別売）のご使用をおすすめします。ＡＣアダプターの接続／取り外しは、カメラの電源がＯＦＦで、パソコンとカメラが接続されていない状態で行なってください。

ＵＳＢドライバーソフトをインストールする

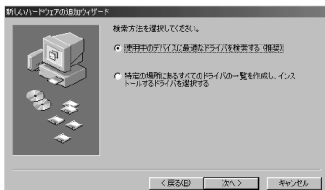
●付属のＣＤ－ＲＯＭからインストールします。
●**Windows 98およびWindows 98SEをご使用の場合のみインストールしてください。他のＯＳをご使用の場合は、インストールの必要はありません。**
●カメラの電源はＯＦＦにします。
●電池の消耗を防ぐため、ＡＣアダプター（別売、型番：ＤＲ－ＡＣ４）のご使用をおすすめします。

1）パソコンの電源を入れ、Ｗｉｎｄｏｗｓを起動します。

2）ＵＳＢケーブルでカメラとパソコンを接続後（ｐ１１２）、カメラの電源をＯＮにします。

3）「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。

4）付属のＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブにセットします。

5）「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をクリックし、「次へ」をクリックします。

6）「検索場所の指定」をクリックします。
「D：¥」を入力し、「次へ」をクリックします。

＊ここでは、ＣＤ－ＲＯＭドライブをＤドライブとして説明します。
＊インストールに必要なＩＮＦファイルは「D:¥」にあります。
＊別の検索場所を指定する場合は、「参照」をクリックしてください。

7）「次へ」をクリックします。

8）「完了」をクリックします。
これでＵＳＢデバイスドライバーのインストールは終了です。

画像をダウンロード（転送）する

●電池の消耗を防ぐため、ＡＣアダプター（別売、型番：ＤＲ－ＡＣ４）のご使用をおすすめします。
● Windows 98 および Windows 98SE をご使用の場合は、最初に「ＵＳＢデバイスドライバーソフト」（付属のＣＤ－ＲＯＭ）をインストールしてください（ｐ１１３〜ｐ１１４）。

１．パソコンの電源を入れ、Windows あるいは Mac OS を起動します。ＵＳＢケーブルでカメラとパソコンを接続（ｐ１１２）します。

２．Windowsの場合、「マイコンピュータ」を開き、新しく作られた「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックします。Macの場合、デスクトップ上に「名称未設定」アイコンが表示されます。

３．「ＤＣＩＭ」フォルダをダブルクリックします。

４．「１００ＫＯＮＩＣ」をダブルクリックすると、画像ファイルのアイコンが表示されます。
＊「１００ＫＯＮＩＣ」の最初の３ケタの数字は、カード内に存在するディレクトリにより異なります。

５．ファイルをダブルクリックすると、画像が表示されます。保存する場合は、任意の場所にコピーしてください。

注意！

※カメラの内蔵メモリに画像データが記録されていない場合や、画像データが記録されたカードがカメラに入っていない場合はパソコンと接続できません。

※カメラ内に２枚のカードが挿入されている場合、優先メモリー（ｐ２５、ｐ１０５）が表示されます。

※必要に応じて、画像ファイルをハードディスクなど他のメディアにコピーしたり、消去することができます。ご使用のＯＳの使用説明書をご参照ください。なお、この操作により生じた損害や障害等についての保証・責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

※大切なデータは必ずバックアップを取ってください。

※カメラで設定したプロテクト設定は、ファイルの読み取り専用属性をセットしたものです。パソコンでこの属性を変更しないでください。パソコンで変更した場合、カメラで設定したプロテクト設定は無効となってしまいます。

※カードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名をパソコンで変更したり、カメラによる画像データ以外のファイルをパソコンで書き込んだりしないでください。そのカードをカメラに入れても、パソコンで変更したり新しく入れたりした画像は、カメラで再生できません。また、カメラの機能にも支障をきたすことがあります。

※カードをパソコンでフォーマットしないでください。データが破損する場合があります。

※画像を編集する場合は、パソコン側へ画像をコピーしてから行ってください。

オンラインラボ工房をインストールする

付属の「オンラインラボ工房」CD-ROM をインストールするとカメラで撮影した画像をインターネット上で保管したり、高画質プリントを注文することもできます。
＊対応 OS は、Windows のみです。

●オンラインラボ工房とは・・・

1）デジタル百年プリント
インターネットで高画質プリントを簡単に注文することができます。

2）オンラインアルバム
インターネット上に画像を保管して、ご家族・ご友人と共有することができます。

3）オンラインパーク
撮影した画像を使って色々な楽しみ方ができます。

●インストール方法

1）Windows を起動した後、オンラインラボ工房の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

2）自動的にインストーラーが起動しますので、画面に従ってインストールしてください。

※従来の写真と同様にデジタルカメラの画像も一部店舗を除きプリント取扱店でプリントできます。詳しくはプリント取扱店にご相談ください。

ユーザーズガイド（使用説明書）をインストールする

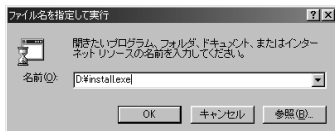
1．Ｗｉｎｄｏｗｓ

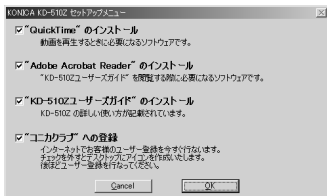
●ユーザーズガイド（使用説明書）のインストール

1）パソコンの電源を入れ、Ｗｉｎｄｏｗｓを起動します。

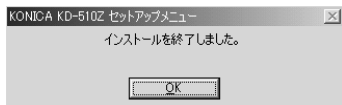
2）付属のＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブにセットします。

3）「スタート」ボタンをクリックしてから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

4）「ファイル名を指定して実行」の画面が表示されます。
「Ｄ：￥ｉｎｓｔａｌｌ．ｅｘｅ」を入力し「ＯＫ」をクリックします。

＊ここでは、ＣＤ－ＲＯＭドライブをＤドライブとして説明していますが、パソコンの「マイコンピュータ」からＣＤ－ＲＯＭドライブに表示されているアルファベットをご確認ください。

５）「ＫＯＮＩＣＡ　ＫＤ－５１０Ｚセットアップメニュー」の中の、「ＱｕｉｃｋＴｉｍｅ」「Ａｄｏｂｅ　Ａｃｒｏｂａｔ　Ｒｅａｄｅｒ」「ＫＤ－５１０Ｚユーザーズガイド」「コニカクラブへの登録」の全てがチェックされていることを確認し「ＯＫ」をクリックします。

６）上記５）でチェックしたソフトウェアを順番にインストールしますので、画面の指示に従って操作してください。

注）インストールの途中で「キャンセル」をクリックした場合、インストールは完了しませんので、再度インストール作業が必要になります。
但し、再起動は全てのインストール終了後に行ってください。

７）全てのインストールが終了すると「ＫＤ－５１０Ｚセットアップメニュー」画面が表示されます。「ＯＫ」をクリックすると作業は完了します。

●ユーザーズガイド（使用説明書）を見る

１）デスクトップ上の「ＫＤ－５１０Ｚユーザーズガイド」アイコンをダブルクリックします。
２）「ＫＤ－５１０Ｚユーザーズガイド」が表示されます。

２．Ｍａｃｉｎｔｏｓｈ

※ＱｕｉｃｋＴｉｍｅのインストールは必要ありません。

●Ａｄｏｂｅ　Ａｃｒｏｂａｔ　Ｒｅａｄｅｒのインストール

※既にインストールされている場合、または、ＭａｃＯＳＸをご使用の場合は、インストールの必要はありません。

１）パソコンの電源を入れ、付属のＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブにセットします。

２）Konica　「Ｋｏｎｉｃａ」アイコンをダブルクリックします。

３）Adobe　「Ａｄｏｂｅ」アイコンをダブルクリックします。

４）Japanese　「Ｊａｐａｎｅｓｅ」アイコンをダブルクリックします。

５）Acrobat Reader Installer　「Ａｃｒｏｂａｔ Ｒｅａｄｅｒ Ｉｎｓｔａｌｌｅｒ」をダブルクリックします。

６）画面の指示に従って操作してください。

●ユーザーズガイド（使用説明書）のインストール

１）付属のＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブにセットします。

２）Konica　「Ｋｏｎｉｃａ」アイコンをダブルクリックします。

３）Manual　「Ｍａｎｕａｌ」アイコンをダブルクリックします。

４）GUIDE_JP　「ＧＵＩＤＥ＿ＪＰ」を任意の場所にコピーします。

５）任意の場所にコピーした「ＧＵＩＤＥ＿ＪＰ」をダブルクリックすると「ＫＤ－５１０Ｚユーザーズガイド」が表示されます。

専用ＡＣアダプターキット（別売、型番：ＤＲ－ＡＣ４）のご使用について

●ＡＣアダプターは､表示された電源電圧（ＡＣ１００Ｖ～ＡＣ２４０Ｖ）以外の電圧で使用しないでください。
●付属のＡＣケーブルは、電源電圧が１２５Ｖ以下の地域でのみご使用になれます。１２５Ｖ以上の地域では、変圧器により１００Ｖ～１２５Ｖへ変圧しご使用ください。

付属の充電器（型番：ＤＲ－ＢＣ－Ｋ４）のご使用について

●充電器は、表示された電源電圧（ＡＣ１００Ｖ～ＡＣ２４０Ｖ）以外の電圧で使用しないでください。
●電源コードは、電源電圧が１２５Ｖ以下の地域でのみご使用になれます。１２５Ｖ以上の地域では、変圧器により１００Ｖ～１２５Ｖへ変圧しご使用ください。

保証書について

●本機は国内仕様です。付属している保証書は、日本国内でのみ有効です。
●外国で万一､故障や不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよび、その費用についてはご容赦ください。

お手入れ時のお願い

お手入れの際は、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。

- お手入れの際は、最初に電池を取り出してください。また、ＡＣアダプターを使用の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- カメラの外装には、印刷や塗装がしてあります。ベンジンやシンナーなどで拭いたりすると変色したり、塗装や印刷が剥げることがあります。
- 汚れたときは、柔らかい乾いた布でホコリを拭いてください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤（台所用）に布を浸し、よく絞ってから拭いて、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

使用後のお願い

長時間使用しないときは、電池を取り出してください。また、ＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 長時間電池を入れたままにすると、液漏れを起こし、故障の原因となります。
- 保管するときは、本機・電池共、涼しく湿気の少ない、なるべく温度の一定した所に保管してください。
  推奨温度：１５℃～２５℃
  推奨湿度：４０％～６０％

カードについて

取扱いについて

- 曲げたり、強い力や衝撃を加えないでください。
- 湿度の高い所、ほこりや湿気の多い所、静電気や電磁波の発生しやすい所に保管しないでください。
- 端子部にゴミや水、異物を付着させないでください。

画像データについて

・他機種やパソコンで記録された画像やファイルの消去はパソコンで行なってください。
・お客様または第三者がカードの使い方を誤ったり、カードが静電気や電気的ショックなどの影響を受けたり、故障や修理した場合、記録したデータが消滅することがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社では一切責任を負えませんので予めご了承ください。

液晶モニターについて

・液晶モニターは、精密度の高い技術で作られています。９９．９８％以上の有効画素がありますが、０．０２％以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
・寒い所で使うと、はじめは画面が通常より少し暗くなりますが、本体内部の温度が上がってくると通常の明るさになります。
・ほこりや指紋などが付着して汚れたときは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。

故障かな？と思ったら

●下表に従って点検しても直らないときは、お買い上げ店または、コニカサービス　サポートセンター（Ｐ１２９）にお問い合わせください。

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
電源	電源が入らない	・電池が消耗している ・電池が正しい向きで入っていない ・ＡＣアダプターが正しく接続されていない	１９ １９ ２２
	電源を入れてもすぐに切れる	・電池が消耗している ・低い温度の所で使用している	１９ １２６
撮影	シャッターボタンを押しても撮れない	・電源がＯＮになっていない ・ＳＤメモリーカードまたはメモリスティックがライトプロテクトされている ・撮影可能枚数いっぱいに撮っている →　不要な画像は削除してください ・セルフタイマー撮影になっている ・フラッシュが充電中である	２６ １３ ７６、８２ ４３ ４０
	ピントが合わない	・被写体が画面中央にない ・ピントが合わせにくい被写体である ・レンズが汚れている ・被写体との距離が合っていない	３４ ３４ ３１ ３２
	液晶モニターの表示や画像がはっきりしない	・液晶の明るさ調整が合っていない ・指紋やほこりがついている	５７、８５ １２２
	フラッシュが発光しない	・フラッシュが「発光禁止」モードになっている	４１

故障かな？と思ったら（つづき）

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
再生	再生できない	・ＰＬＡＹボタンがＯＮになっていない ・撮影された画像データが入っていない ・画像データを全て消去した	７０ ７０ ７６、８２、９９
	画像が自然な色合いにならない	・ホワイトバランスが合っていない状況の可能性がある	５２
	画像が暗い	・距離が遠くてフラッシュ光が届かなかった ・光量が不足していた ・露出補正の調整が合っていない	４０ ３３ ５１、１０７
	画像が明るすぎる	・被写体に近づきすぎてフラッシュを発光した ・露出補正の調整が合っていない	４０ ５１、１０７
その他	パソコンに転送できない	・パソコンと正しく接続されていない ・カメラに撮影済みの画像データが入っていない	１１２ １１５
	日付が正しく表示されない	・電池を外したまま２４時間以上経過していた	１０３

おもな仕様

形式	：ズームレンズ付デジタルスチルカメラ
有効画素数	：５．０メガピクセル
記録媒体	：内部記録媒体；約２ＭＢフラッシュメモリ内蔵 外部記録媒体；ＳＤメモリーカード、マルチメディアカード、メモリースティック
記録画素数	：2592×1944pixel（約51枚／SDメモリーカード64MB時） 2048×1536pixel（約85枚／SDメモリーカード64MB時） 1600×1200pixel（約160枚／SDメモリーカード64MB時） 640×480pixel （約640枚／SDメモリーカード64MB時）
記録方式	：静止画；ＪＰＥＧ（ＤＣＦ準拠注1）／ＤＰＯＦ対応注2 静止画音声，音声；ＷＡＶ形式に準拠 ムービー；ＤＣＦ準拠（ＡＶＩ形式Ｍｏｔｉｏｎ ＪＰＥＧに準拠）
撮像素子	：１／１．８インチＣＣＤ、 総画素数 2690×1994pixel（約536万画素）
撮像感度	：ISO100相当、感度切替え可（AUTO、50、100、200、400）
撮影レンズ	：Ｆ２．８～４．９，ｆ＝８～２４ｍｍ（６群７枚） （１３５サイズカメラ換算で３９～１１７ｍｍ相当）
焦点調節／測光方式	：ＣＣＤ像面輝度信号によるＴＴＬ中央重点測光、 スポット測光
撮影範囲	：通常撮影；広角側 ０．５ｍ～∞、望遠側 ０．８ｍ～∞ マクロ撮影；広角側 ６ｃｍ～∞、 望遠側 ０．５ｍ～∞
絞り	：広角側；Ｆ２．８／Ｆ４．７、望遠側；Ｆ４．９／Ｆ８．３
シャッター速度	：静止画 ；約１秒～１/２０００秒（マニュアル露出モード時；約１５～１／１０００秒）、 ムービー；約１／３０秒～１／５０００秒
露出制御	：プログラムＡＥ（３ＥＶ～１５.５ＥＶ）、ＩＳＯ１００換算
ホワイトバランス	：自動補正、手動設定可（昼光、曇天、白熱灯、蛍光灯）
ファインダー	：実像式ズームファインダー
フラッシュ	：内蔵式自動調光フラッシュ、発光間隔・約５秒、 撮影可能範囲（ＩＳＯ１００）・広角側約０．５ｍ～３．５ｍ、 望遠側約０．５ｍ～２．０ｍ、 充電中はファインダーＬＥＤの赤ランプ点灯

撮影モード	：単写／赤目軽減／フラッシュ強制発光／ポートレート夜景／フラッシュ発光禁止／マクロ／遠景／セルフタイマー（10秒、3秒）／デジタルズーム（×2、×3）／ムービー（320×240、最長約30秒音声付）／モノクローム（白黒、セピア）／連写
液晶モニター	：バックライト付き1.5インチ低温ポリシリコンＴＦＴ液晶カラーモニター
再生	：１コマ／インデックス再生／スライドショー再生／デジタルズーム再生
消去	：１コマ／指定コマ／全コマ／フォーマット
ＬＥＤ表示	：セルフタイマーＬＥＤ、ファインダーＬＥＤ
ブザー	：撮影時、各種警告時
オートデート	：２０５０年までの年月日・時分を記録注3
電源	：リチウムイオン電池、専用ＡＣアダプター（別売）
入出力端子	：ＵＳＢ端子
動作温度	：０℃～５０℃（湿度２０％～８０％）
大きさ	：９４(W）×５６(H)×２９．５(D)ｍｍ（突起部除く）
質量（重さ）	：約２００ｇ（電池、カード別）
付属品	：

付属品	日本	日本以外
1） リチウムイオン電池（型番：DR－LB4）	○	○
2） 充電器（型番：DR－BC－K4）・電源コード	○	○
3） USBケーブル	○	○
4） CD－ROM	○	○
5） ストラップ	○	○
6） 使用説明書（本書）	○	—
7） クイックガイド	—	○
8） 品質保証書	○	○
9） オンラインラボ工房（CD－ROM）	○	—
10） SDメモリーカード	○	○

＊上記性能については、当社試験条件によります。
＊製品の仕様および外観については予告なく変更することがあります。

注１．ＤＣＦとは、主としてデジタルカメラの画像ファイルを、関連機器間で簡単に利用しあうことを目的として規定された（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

注２．ＤＰＯＦ とは、キャノン株式会社、コダック株式会社、富士写真フィルム株式会社、松下電器産業株式会社の４ 社で規定し、デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントしたい画像や枚数などの指定情報を記録媒体に記録するための規格「Digital Print Order Format 」の略称です。

注３．日付・時刻のバックアップ電池として、マンガンシリコンリチウム電池を使用しています。バックアップ電池は３～５年に１度の交換をおすすめします。（有料）

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は･･･
まず、お買い上げ店へお申し付けください。

●保証書（別添付）

お買い上げ店からお受け取りの際は、お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずご確認ください。保証書はよくお読みになったあと保存してください。

※保証期間は、お買い上げ日から本体１年間です。

●修理を依頼されるときは

Ｐ１２３～１２４の表に従ってご確認のあと直らないときは、接続している電源を外してから、お買い上げ店へご連絡ください。

注）修理品をご持参・お持ち帰りの際の交通費、またはご送付される場合の送料および諸掛かりはお客様のご負担とさせていただきます。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため、受け渡しの確認のできる手段（簡易書留や宅配便）をご利用ください。

●保証期間中は

万一、保証期間中に故障した場合は保証書を添え、当社サービスステーションまたはお買い上げ店にお申し出ください。保証規定の範囲内で無料修理をいたします。

注）使用上の誤り、当社以外での修理・改造・分解による故障や保管上の不備による故障は保証の対象になりません。また、砂泥かぶり、浸・冠水、衝撃、落下、火災などの事故による故障は保証の対象にならないだけでなく、著しく損傷したものは殆ど機能の修復は望めません。

修理が可能かどうかの判定は当社サービスステーションにご相談ください。

●本製品の補修用性能部品（製品を維持するために必要な部品）は生産終了後８年間を目安に保有し、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後でも修理可能な場合がありますので、当社サービスステーションまたはお買い上げ店にご相談ください。

●保証期間を過ぎた後の修理は有料となります。また、その際の修理品の運賃など諸掛かりは、お客様のご負担をさせていただきます。

カメラ本体に関する技術的なお問い合わせは・・・

●株式会社コニカサービス　サポートセンターまで

住所　：〒191-0003　東京都日野市日野台　５－２２－１７
電話　：０４２－５８７－１０４４
ＦＡＸ：０４２－５８４－７５５６

●電話での受付時間のご案内

１０：００～１７：００

●休業のご案内

土・日曜日・祝日
その他の休業日（年末、年始、夏期休暇）

カメラ本体の修理に関するお問い合わせは・・・

●サービスステーション（本製品についてのお問い合わせ・修理の受付窓口）

東京（新宿）	160-0022 東京都新宿区新宿 3-26-11 新宿高野ビル 4F TEL(03)5269-0691(代)
大阪	541-0059 大阪市中央区博労町 4-4-1 コニカ大阪ビル 3F TEL(06)6253-0251(代)
名古屋	460-0008 名古屋市中区栄 2-2-17 名古屋情報センタービル 3F TEL(052)221-8950(代)
福岡	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-4 安田生命博多ビル 8F TEL(092)451-4810(代)
札幌	060-0003 札幌市中央区北三条西 1-1-1 ナショナルビル 7F TEL(011)271-6434(代)
仙台	983-0852 仙台市宮城野区榴岡 5-12-55 NAViS ビル 4F TEL(022)298-9050(代)
広島	730-0037 広島市中区中町 8-6 フジタビル 1F TEL(082)249-4116(代)

●営業時間のご案内

新宿　１０：３０～１８：３０、その他　９：００～１７：２５

●休業のご案内

土・日曜日・祝日
その他の休業日（年末、年始、夏期休暇、新宿は特別休館日もあります）

※詳しくはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

＊コニカのホームページ　http://www.konica.jp

Konica

コニカフォトイメージング株式会社

163-0512 東京都新宿区西新宿1-26-2

カメラ本体に関する技術的なお問い合わせは・・・

●株式会社コニカサービス　サポートセンターまで

住所　：〒191-0003　東京都日野市日野台　５－２２－１７

電話　：０４２－５８７－１０４４

ＦＡＸ：０４２－５８４－７５５６

●電話での受付時間のご案内

１０：００～１７：００

●休業のご案内

土・日曜日・祝日

その他の休業日（年末、年始、夏期休暇）